

平成27年度
事業報告書
収支決算書



社会福祉法人しらとり会

監査報告書

平成28年5月19日

社会福祉法人しらとり会
理事長 正田 信夫 様

社会福祉法人しらとり会

監事 菅川光彦 
監事 高橋康裕 

社会福祉法第40条並びに社会福祉法人しらとり会定款第11条に基づき、下記のとおり監査結果を報告します。

記

- 1 監査日 平成28年5月19日(木)
- 2 監査の種別 決算監査
- 3 監査実施者 菅川光彦、高橋康裕
- 4 監査の内容 会計監査、業務監査
- 5 監査意見 監査の結果、適正と認められました。(別表のとおり)
- 6 添付資料 監事監査チェックリストの写し

別表

事 項		監 事 意 見
法人の組織運営状況 (規程, 役員・理事会・ 評議員会)		適正である
法人の組織運営状況 (人事・労務管理)		適正である
事業(活動)状況, 施設・ 事業の運営管理状況		適正である
福祉サービスの質の向上 のための取組状況		適正である
法人 及 び 事 業 の 会 計 状 況	会計帳簿の状況	適正である
	予算の編成状況	適正である
	出納・財務の状況	適正である
	契約状況(契約方法, 入札方法)	適正である
	資産の管理状況	適正である
	経理区分間及び会計 単位間の資金異動状 況	適正である
	決算書類の作成状況	適正である
	法人の財務状況等	適正である
その他		適正である

(注) 監事意見欄は, 監事監査チェックリストによる確認結果に基づき, 区分ごとに「適正である」
「概ね適正である」「〇〇の処理が, 〇〇となっており, 〇〇規程〇〇条に違反しているのでは
正されたい。」(是正又は改善を要する点は具体的に記載)等の意見を記載する。

平成 27 年度
社会福祉法人しらとり会 事業報告

1. 地域生活支援センターまほろば	
(1) 相談支援事業	・・・ 2
(1) - 1 はあとふる	(2)
(1) - 2 まほろば	(6)
(2) 地域活動支援センター I 型事業	・・・ 9
(3) 住宅入居等支援事業	・・・ 24
2. ワークセンターなかよし	
(1) 就労継続支援 B 型事業	・・・ 25
(2) 自立訓練（生活訓練）事業	・・・ 34
3. その他の活動等	・・・ 38
4. 苦情解決等	・・・ 39
5. 防災・安全	・・・ 41

1. 地域生活支援センターまほろば

(1) 相談支援事業

(1) - 1 委託相談支援事業 (はあとふる)

1) 全体の概要

『一般相談』の実績では、相談者の実人員で昨年度に比べて161名の減少が見られている。しかしその内訳を見ると、減少しているのは児童の人数で、成人はほぼ同数で推移している。児童の相談実人員の減少は、早期発見早期療育の観点から発達相談の実績に集約したことが要因として考えられ、発達相談の児童の実人員が増加となっている。全体の相談実人員は、ほぼ同数で推移しており、新規相談実人員は51名の増加となっている。サービスを利用されている方が、市内19箇所の相談支援事業所の相談に移行して継続的に支援する方が減少した一方で、困難な課題を複数抱えている方の相談や、診断はないが障害があると思われる方、本人に支援ニーズがないが家族が困られている方、福祉サービスを利用されていない方、これから利用のニーズがある方の相談が中心になっており、制度も含めて地域全体の相談支援体制の変更があったこと、はあとふるの基幹相談支援センターへの移行にともない、役割が変わってきたことの表れと捉えている。

2) - 1 **相談内容の傾向として**

障害種別の中では、精神障害の相談件数が増えている。支援内容でも『不安の解消・情緒安定に関する支援』が47件の増加、『生活技術に関する支援』が141件の増加で、ともに1,000件を超える高い件数で推移しており、引きこもりやサービスに繋がらない方の相談件数の増加とあいまって、地域で生活する中で不安を抱えている方を支える相談ニーズの高まりと捉えている。

(総合相談機能)

困難事例や新規事例については、毎週月曜日のケースミーティングで支援内容を協議し、支援の方向性を確認している。複数の障害者を抱える困難家庭の支援については、複数担当制をとりコーディネーター同士で報告・連絡・相談しながら相談支援を進めている。

また、発達支援コーディネーターや就労支援コーディネーターの常駐によって早い段階から連携を図ることができ、障害特性に配慮した支援計画作成や就労に特化した支援に繋ぎやすくなっている。

近年、高齢者で障害があると思われる方や、保護者が高齢になられたことによって生じる課題についての相談が増加しており、相談や支援ニーズが多岐にわたっていることから、横断的に関係機関と連携を図りながら進める機会が増加している。

(療育相談機能)

発達専門相談の新規ケースの82%が児童の相談となっており、多機能の子育て支援機関として紹介を受け、保護者の子どもの発達に対する正しい理解と不安の軽減を図りながら、専門機関や保育所・幼稚園・学校と連携しながら相談支援に努めている。

また保育所や学校への巡回相談や療育教室への支援を通して、個別相談につながるケースや、「はあとふる」を紹介されることも増えており、発達の遅れや偏りによる育てにくさや負担感に対しての早期の相談支援が図れるようになっている。

2) - 2 **重点項目のふりかえり**

① 発達支援体制の強化

発達障害理解に関する各方面からの取り組みや啓発により、当事者、支援者の双方に早期からの配慮や支援の必要性が理解されるようになり、相談支援機関につながるケースが増えた。しかしその一方で、児童期支援に必要な療育機関の受け入れには限りがあり、待機児童は増加し続けており慢性的に資源不足の状態が続いている。

そのことを踏まえて、昨年度に引き続き基幹型子育て支援センターと協力して保育関係者向

けの研修会を実施し、幼稚園を含む保育機関において、特性をアセスメントして特性に基づいた個別支援を人的・物理的環境の許される範囲で提供いただけるところが増えてきている。療育機関の不足については、地域課題として次年度から具体的に進めていくための課題別会議を設置した。

②相談支援体制の強化

昨年に引き続き、特定指定相談支援事業所や障害児相談支援事業所との連携強化に努めた。計画相談 100%達成後は計画の質が問われており、地域の相談支援専門員のスキルアップ、人材育成のための連携会議や研修企画などを重点において行っている。

また、相談や支援ニーズが多岐にわたっていることから、横断的に関係機関と連携を図っていくことや、基幹として求められるスーパーバイズやアウトリーチを機能させることで東広島市全体の相談支援機能の底上げを図っていく必要がある。

③地域移行・地域定着の取り組み

入所施設や精神科病院の相談員、関係機関との連携に努め地域移行・定着の体制整備に関わった。障害福祉計画で数値目標を設定されているが、実際にはあまり進んでない実情があり、次年度から具体的に進めていくための課題別会議を設置した。

④虐待の防止と権利擁護の推進

平成 24 年 10 月の障害者虐待防止法の施行により障害者虐待防止センターが設置され、その窓口としての役割を担っており、認知されてきている。障害のある方や家族、支援者等からの虐待や権利擁護の相談に対応するとともに、障害者虐待防止の普及、啓発の研修企画、実施を行っている。

虐待通報・認定件数は減少傾向にあるが、通報件数が少ないことと、実際に虐待がないこととは同じではないので、虐待防止法の真の目的である虐待の防止、虐待の芽を早期に摘むことを実現するために、今後も啓発研修に取り組んでいきたいと考える。

⑤自立支援協議会の運営

市内の施設、事業所、関係機関、行政機関、障害のある人や家族など多くの方の参加を募り地域課題を共有し、官民協働で地域課題解決に向けた取り組みを行うための自立支援協議会を運営している。

4 年前に 3 年計画を立てて運営してきた協議会について振り返って課題を整理し、障害者計画・障害福祉計画の実現も念頭におきながら、次年度からの協議会の再編成を行なった。

・部会の運営（自立支援協議会全体会で各部会から報告）

- 精神保健福祉部会
- 聴覚障害者の課題を検討する部会
- 就労部会
- 権利擁護部会
- ヘルパー支援部会
- 療育部会
- 医療連携部会

○相談支援事業所連絡会（NETZ 東広島）

○障害者支援施設連絡会（SKH 東広島）

○収入アップネットワーク（就労継続支援事業所意見交換会）

・プロジェクトの運営（自立支援協議会全体会で各プロジェクトから成果を報告）

○訪問介護事業所において介護保険のみ事業を運営している事業所に障害福祉サービスの指定を取ってもらうためにプロジェクト

○障害福祉サービスから介護保険移行についての Q&A 集作成プロジェクト

3) 障害者総合支援センター分の相談件数や内容等について

(* 4～5 ページ参照)

相談支援事業実績報告書 (一般相談) 平成27年度実績

(相談支援を利用している障害者等の人数)

		実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	うち〇内新規	406 (165)	67	3	99	147	16	3	71
障害児	うち〇内新規	187 (25)	15	4	86	0	34	0	48
計	人	593 (190)	82	7	185	147	50	3	119

(支援方法)

	訪問	来所相談	同行	電話等相談	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	729	486	121	2891	320	387	1275	6209

(支援内容)

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	962	94	447	1023	287	778	182	1439	701

	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	16	36	1224	7189

相談支援事業実績報告書 (発達専門相談) 平成27年度実績

(相談支援を利用している障害者等の人数)

		実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	うち〇内新規	154 (68)	0	0	12	11	49	0	82
障害児	うち〇内新規	546 (306)	2	0	26	1	129	0	388
計	人	700 (373)	2	0	38	12	178	0	470

(支援方法)

	訪問	来所相談	同行	電話等相談	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	975	599	72	933	126	107	106	2918

(支援内容)

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	340	343	85	109	1660	65	37	280	115

	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	26	2	367	3429

相談支援事業実績報告書 (就労専門相談) 平成27年度実績

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者 うち〇内新規	95 (26)	14	0	20	29	17	3	12
障害児 うち〇内新規	18 (4)	0	0	7	0	5	0	6
計 人	113 (30)	14	0	27	29	22	3	18

(支援方法)

	訪問	来所相談	同行	電話等相談	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	127	157	69	213	43	733	206	1548

(支援内容)

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	0	0	1	0	1	1	0	1	1340

	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	5	0	4	1353

相談支援事業実績報告書 (虐待相談) 平成27年度実績

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者 うち〇内新規	24 (12)	3	1	14	4	1	0	1
障害児 うち〇内新規	1 (1)	0	0	1	0	0	0	0
計 人	25 (13)	3	1	15	4	1	0	1

(支援方法)

	訪問	来所相談	同行	電話等相談	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	17	2	0	26	183	20	12	260

(支援内容)

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	47	2	8	15	7	91	37	36	24

	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	0	60	15	342

(1) - 2 まほろば

①指定相談支援事業

■計画相談支援（サービス等利用計画作成及びモニタリング）

【実施内容】

表1 平成27年度のサービス等利用計画作成等の実施件数

月	サービス等利用計画作成 新規及び更新件数				モニタリング件数			
	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
4	14	13件	8件	1件	30件	22件	25件	8件
5	6	10	6	1	29	22	26	7
6	7	13	5	0	22	20	23	10
7	9	8	9	3	23	21	22	9
8	8	6	6	3	22	21	20	12
9	10	8	8	3	21	24	20	11
10	9	8	8	4	30	19	20	11
11	7	6	3	4	24	22	28	14
12	5	6	6	4	21	21	27	15
1	8	2	6	4	22	23	27	17
2	6	8	7	7	22	24	27	19
3	9	7	8	5	26	34	24	23
合計	98件	95件	80件	39件	270件	273件	289件	156件

【評価と課題】

- ・平成26年度と比べほぼ横ばいの実施件数となっている。相談支援専門員が一人あたり、30件程度のケースを受け持っている。
- ・基幹相談支援センターや保護観察所等から、触法の障害者や医療観察法対象者の相談支援についての依頼が複数あった。今後も増えていく可能性があるため、より関係機関との連携、相談支援技術の向上が求められている。
- ・平成27年度は介護保険移行した利用者が1名だったが、介護保険対象年齢に近い利用者が多いため、関係機関と連携を取りながら、介護保険への移行がスムーズにできるようにしていくことが課題である。

表2 平成27年度の指定特定相談支援に係る基本相談の実施件数

月	面接	訪問	会議	電話相談
4	7件	10件	3件	16件
5	1	5	1	20
6	8	6	3	15
7	11	5	2	11
8	2	5	1	18
9	6	4	1	10
10	2	6	1	7
11	3	6	0	20
12	3	8	0	7
1	2	2	2	5
2	5	3	0	10
3	6	1	2	15
合計	56件	61件	16件	154件

- ・介護保険へ移行した方からの相談等もあり、状況に応じて電話相談や訪問支援を行っている。
- ・電話相談が比較的多く、本人からの相談以上に関係機関と連絡調整が多いため、件数も多くなっている。

表3 平成27年度の東広島市自立支援協議会や県内の団体等の会議への参加状況

東広島市 自立支援 協議会	相談支援会議 (NETZ 東広島を含む)	12回
	精神保健福祉部会	12回
(広島県精神障害者支援事業所連絡会) 相談支援事業所連絡会議		6回

- ・東広島市自立支援協議会や県内の団体等の会議へも参加し、情報共有等を行った。

■地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）

【実施内容】

(地域移行支援)

表4 平成27年度の地域移行支援の実施状況

月	地域移行支援	
	利用人数	支援回数
4	0人	0回
5	0	0
6	0	0
7	0	0
8	0	0
9	1	3
10	1	3
11	1	4
12	1	4
1	1	4
2	1	3
3	0	0

*平成27年度 地域移行支援 実人数 1人

表5 平成27年度の地域移行支援利用者への支援内容等

○Aさん

月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
回数	3	3	4	4	4	3
支援内容	・自立訓練施設の利用に向けての準備、体験利用	・自立訓練施設の体験利用、体験宿泊	・自立訓練施設の体験利用、体験宿泊	・自立訓練施設の体験利用、体験宿泊	・自立訓練施設の体験利用、体験宿泊	・退院後の生活についての準備等

(地域定着支援)

表6 平成27年度の地域定着支援の実施状況

月	支援人数	詳細
4	7人	
5	7	Aさん：生活の安定により終了 ・Bさん：入院により中断
6	5	Cさん：緊急時支援実施（通院同行）
7	5	
8	5	Cさん：緊急時支援実施（入院支援）
9	6	Dさん：新規利用 ・Cさん：退院により再開
10	7	Eさん：新規利用
11	8	Bさん：退院により再開
12	8	Cさん：緊急時支援実施（通院同行）
1	8	
2	8	Cさん：緊急時支援実施（通院同行、入院により中断）
3	7	

*平成27年度 地域定着支援 実人数 8人

【評価と課題】

(地域移行支援事業)

- ・平成27年度は1人の方へ地域移行支援を行った。内容としては、自立訓練施設の体験利用への同行支援等を行った。
- ・保護観察所や基幹相談支援センターからの触法障害者の相談支援の依頼もあった。
- ・地域移行支援が県全体でも件数が延びておらず、これまでは、病院のPSWとの連携が主であったが、今後は病院の看護師などからも、入院患者の状況を確認し、ニーズの掘り起こし、退院のための受け皿を検討する必要がある。

(地域定着支援事業)

- ・平成27年度は、年間を通じて8人の利用があった。新規利用としては、医療観察法対象者の利用があった。
- ・地域定着支援利用者へは、クライシスプランを作成し、平穏時から緊急時までの本人、支援者の役割を決めておいたことで、本人の安心につながった。
- ・利用者へは、モニタリングやケア会議等で生活状況を確認していくとともに、生活が安定した方については、ケア会議を開催し、地域定着支援の終了を目指していく。
- ・今後も、長期入院からの退院者や触法の障害者など、濃厚な支援を必要とする方へは、地域定着支援を活用していく。

(2) 地域活動支援センター I 型事業

1) 利用者の状況

■利用者の状況

表7 平成27年度末(平成28年3月末現在)における利用の状況

平成27年度末 登録者数 146人 (平成26年度末 登録者数 150人)				年齢別構成			
				年代	平成27年度末	平成26年度末	増減
性別構成				10歳代	1人	1人	±0
				20歳代	5	6	-1
				30歳代	41	41	±0
				40歳代	58	60	-2
性別	平成27年度末	平成26年度末	増減	50歳代	24	26	-2
男性	92人	95人	-3	60歳代	15	15	±0
女性	54	55	-1	70歳代	2	1	+1
合計	146人	150人	-4	合計	146人	150人	-4

2) 具体的な活動の状況

①憩いの場の提供

【目的】

- ・安心して気軽に集まれる交流の場を提供する。
- ・利用者同士が互いに支え合い、お互いの話を聞くことで自分自身の障害の受容を図っていくとともに、自分自身の体験からアドバイスし合い、フロアがピアサポートの場となるよう支援する。
- ・個別の利用目的を把握しながら、利用者のニーズに基づいた支援を行う。

【実施内容】

- ・利用者同士がお互いの話を聞き、自分自身の考えや思いを伝え、アドバイスをし合える場となるように支援した。
- ・相談支援専門員等とも連携し、個別の利用目的を把握しながら、個々に合わせた支援を行った。

【評価と課題】

- ・年々利用者同士が互いに支え合い、フロア全体がピアサポートの場となってきたと感じられる。これは、利用者自身の力が付いてきている結果だと言える。また、利用者同士のネットワークも増えており、フロア以外での交流も増えてきている。
- ・平成26年度に比べ平成27年度はフロアの利用者数が減っているが、これは他の事業所が増えたことで相談できる場所が増えたためと思われる。
- ・利用者より、「フロアで他者に対して暴言等吐いている人がいた」との話があったため、しらとり会ミーティング等で話し合いを行い「利用者心得」の内容の確認・変更を行なった。平成28年度は新しい利用者心得の内容をもとに、職員間で連携・情報交換等密に行いながら支援していく必要がある。

表8 平成27年度の2階フロアの利用状況

月	のべ利用者人数				開所日数	1日平均の利用者数	フロア利用者実人数
	登録者		登録外体験利用	合計			
	市内	市外					
4	623人	17人	25人	665人	26日	26人	76人
5	547	11	45	603	26	23	69
6	608	15	18	641	26	25	83
7	556	15	20	591	27	22	70
8	561	14	18	593	23	26	77

月	のべ利用者人数				開所日数	1日平均の 利用者数	フロア利用者 実人数
	登録者		登録外 体験利用	合計			
	市内	市外					
9	541	16	21	578	26	22	74
10	529	18	14	561	27	21	69
11	488	16	12	516	25	21	69
12	532	14	17	563	27	21	87
1	486	15	14	515	24	21	65
2	480	17	12	509	25	20	59
3	524	19	30	573	27	21	60
合計	6,475人	187人	246人	6,908人	309日	269人	—
平均	540人	16人	21人	576人	26日	22人	72人

②電話相談及び面接・訪問等

【目的】

・フロアの利用が難しい方や、困りごと・相談等がある場合には、必要に応じて電話による相談を行い、解決の糸口が見つかるように支援する。

【実施内容】

- ・まほろばの開館日に、心配ごとや悩みごとを聞き、解決の糸口が見つかるよう支援した。
- ・1回の利用時間は最大15分とした。
- ・必要に応じて、面接及び訪問による支援を行った。
- ・相談支援専門員とも連携し、サービス等利用計画に沿って相談支援を行った。

表9 平成27年度の月別の利用者からの電話相談の状況（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ件数	745	625	647	627	494	659	806	811	627	610	578	755
1日平均	29	24	25	23	21	25	30	32	23	25	23	28
	合計		7,984件		平均		665件/月					

【評価と課題】

- ・電話相談を通して、本人が自分の考えをまとめることができたり、自分で決断することができるようになってきている点は、電話相談を受け続けている効果と考えられる。
- ・一方で、目的が不明確な内容の電話もあったため、職員間及び相談支援専門員と連携を取りながら、利用の目的を明確化する必要がある。
- ・特定相談で支援を終了した方についても、引き続き地域活動支援センターI型事業での電話相談や訪問によりフォローする体制を作り、タイムリーに支援できるよう体制を整えておく必要がある。

表10 平成27年度の月別の面接及び訪問の状況（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面接	3	5	3	2	2	1	3	4	2	2	4	3	34
訪問	1	1	2	2	2	2	0	0	1	0	0	1	12
合計	4	6	5	4	4	3	3	4	3	2	4	4	46

③お元気ですかコール

【目的】

・登録はしていても長い間利用されていない利用者や家族の方々に電話をかけ、現在の生活状況等を聞き、生活の中で問題を抱え込まないように、また、新たなニーズや課題を知るために行う。

【実施内容】

・登録はあるが来所や電話相談等が1年以上無く、相談支援専門員等の関わりのない方に対して、電話による支援を行った。

【評価と課題】

・平成27年度は、1年以上利用のない利用者より「いつも『お元気ですかコール』をしてくれるから自分からかけた。元気にしてるよ」と近況報告をしてくださった方がいた。これは継続して行った効果と考えられる。

・平成28年度も法人内職員で連携・情報共有等行いながら電話による支援を行っていくとともに、必要に応じて相談支援専門員、他の関係機関に繋げていく。

④ピアサポート活動の支援

■フレンド・グループミーティング

【目的】

・精神障害当事者が、ご自身が経験した病気や障害の体験を語ることにより、悩みを抱えたり、困っている人に対して同じ立場で支えることができるように支援する。

【実施内容】

・原則、毎月第1水曜日に、しらとり会4階で実施した。(13:00~14:00)
(*10月のミーティングは地域生活支援センターるりにて実施)

表 11 平成27年度の「フレンド・グループミーティング」の実施状況

回	実施月日		実 施 内 容	参加者数(人)
	月	日		
1	4	1	・DVD鑑賞 ・院内茶話会チームより報告 ・実習生への施設概要説明チームより報告	7
2	5	13	・平成26年度「フレンド・グループ」の総括 ・実習生への施設概要説明チームより報告	5
3	6	3	・演習「雑談力」 ・実習生への施設概要説明チームより報告	6
4	7	1	・演習「親戚付き合いのマナーについて」 ・院内茶話会チームより報告	7
5	8	5	・演習「社会資源について①」 ・院内茶話会チームより報告 ・実習生への施設概要説明チームより報告	8
6	9	2	・精神障害者を雇用している会社の人に話を伺う ・院内茶話会チームより報告 ・実習生への施設概要説明チームより報告	7
7	10	7	・地域生活支援センターるりにて ピアサポーター交流会・施設見学	4
8	11	4	・演習「社会資源について②」 ・院内茶話会チームより報告 ・実習生への施設概要説明チームより報告	6

回	実施月日		実 施 内 容	参加者数(人)
	月	日		
9	12	2	・演習「成年後見について」 ・院内茶話会チームより報告 ・実習生への施設概要説明チームより報告	5
10	1	6	・「フレンド・グループミーティングの振り返り（個人）」	8
11	2	3	・「フレンド・グループミーティングの振り返り（全体）」 ・院内茶話会チームより報告	9
12	3	2	・「平成28年度の年間計画（案）について」 ・院内茶話会チームより報告 ・実習生への施設概要説明チームより報告	6
実施回数		12回	合 計	78人

【評価と課題】

（*利用者自身による評価と課題）

- ・社会資源の演習等、ミーティング内だけの話ではなく社会に出ても必要なことを学べ、更に、より内容を深めるために意見を出し合うことができた。
- ・施設外の当事者の人と交流を持てたことがよかった。
- ・DVD鑑賞は視覚的に訴えることができたので良かった。平成28年度も継続していきたい。
- ・メンバーが演習や総合司会の担当をするようになったことは評価できる。
- ・どういったことを聞きたいのかを明確化し、プライバシーに配慮した内容のお願いをすればよかった。
- ・平成28年度は、それぞれがメモを取る練習をするとよいのではないかな。
- ・将来的にメンバーだけで運営していけるよう、今まで職員がしていたことも試行的に徐々にやってみてはどうか。
- ・障害の特性として経験が少ない（社会性等）ところを補えるプログラムがあれば。

■院内茶話会「たんぼぼ」チーム

【実施内容】

- ・年4回、地域生活支援センター365（竹原市）、地域活動支援センターときわと共催し、院内茶話会の企画・運営を行った。

表 12 平成27年度の院内茶話会の実施状況

回	開催日		実施会場	参加者数*
	月	日		
1	8	4	エトワール西条病院	26人
2	10	9	竹原病院	39
3	12	1	賀茂精神医療センター	35
4	3	28	宗近病院	37
実施回数		4回	合 計	137人

（*参加者には、運営スタッフを含む）

【評価と課題】

（*利用者自身による評価と課題）

- ・サブサブ司会をエトワール西条病院で初めて導入することが出来た。

(※サブサブ司会とは、サブ司会である当事者スタッフを、患者ならではの視点で補佐してもらう役目として平成27年度より導入)

- ・グループを色分け等することにより会場の移動がとてもスムーズになった。
- ・実際の退院・退院意欲への結びつきが見えない。
- ・精神科領域における成功法とはこだわりの事で、成功法ばかり歩まず少しは冒険しないと事業力も個人力も到底つかない。
- ・一つ成功したらそればかりして、他の事に目が向いていないし気が回っていなかった。これでは、いずれ打開策が見付からず閉塞感で大きなミスをするであろう。
- ・飲み物が沢山余ることがあったので、各開催病院の参加人数によって本数の調整をした方がいいかもしれない。

■施設概要説明チーム

【実施内容】

- ・学生実習および、見学者に対して施設概要説明を行った。

表 13 平成27年度の実習生および見学者への施設概要説明の実施状況

回	開催日		実施対象先	参加者数	
	月	日			
1	6	9	県立広島大学	1人	
2	8	7	広島国際大学	1	
3	9	9	広島福祉専門学校	1	
4	10	6	広島医療保健専門学校	1	
5	10	26	広島福祉専門学校	1	
6	11	11	日本福祉大学	1	
7	3	2	広島国際大学	1	
実施回数			7回	合計	7人

【評価と課題】

(※利用者自身による評価と課題)

- ・話す内容を整理・統一したことで内容が理解しやすくなった。
- ・人前で話をするのが苦手だったが、実習生に話をする事で少しずつスムーズに話せるようになってきた。また、自分の体験や思いを伝えることが出来る場があって良かった。
- ・実習生が求めている内容について話が出来ているか心配。平成28年度より説明を受けた実習生に感想を聞いてみてはどうか。
- ・以前に比べたら説明チームの人数が減っている。当事者の思いや自身の体験等は個々で違うので、一人でも多くの人にチームに入ってもらい話をしてもらいたい。

■その他

【実施内容】

<体験発表>

- ・平成27年度は、未実施。

<通信での活動紹介>

- ・ピアサポーターとしての活動を毎月の通信で紹介した。

【評価と課題】

(※利用者自身による評価と課題)

- ・学生の感想を聞くことができ、自分達では気付かないことにも気付くことができた。
- ・ピアの意見発表する場ができ、外へも発信することができた。
- ・内容によってはミーティング不参加の方には分かりにくい内容もあったので考えていかなければいけない。

・もっと活動内容を外に発信していきたいが、プライバシーの問題もありどのように発信していくか考えていかなければいけない。

⑤レクリエーション

【目的】

- ・活動を通して、他者とのコミュニケーションを図る機会とする。
- ・ボランティアの参加を募り、地域との繋がりを深める機会とする。
- ・レクリエーション委員が中心となって企画・運営することにより、利用者同士が互いにフォローし合える場を提供する。

【実施内容】

- ・平成27年度は、4回実施した。

【評価と課題】

- ・レクリエーションを実施することで、普段あまり交流のない利用者同士が交流し、コミュニケーションを深める場の提供ができた。
- ・利用者がレクリエーション委員を担い企画・運営・進行することで、今まで人前で話すことが苦手だった利用者が少しずつ人前で話すことができるようになった。また、企画毎に振り返りを行ったことで、利用者同士で改善策を考え、次回それを踏まえて企画・運営することができたことは評価できる。
- ・平成27年度は海水浴の企画にのみアンケートを実施した。アンケートの結果を参考にしながら開催場所・内容等企画したことで、平成26年度より参加者が増えた。

表 14 平成27年度のレクリエーションの実施状況

回	実施月日		実施内容	実施会場等	参加者数(人)		
	月	日			利用者	ボランティア	合計
1	4	11	花見	鏡山公園	12	1	13
2	8	1	海水浴・バーベキュー	梶が浜海水浴場	14	0	14
3	12	19	忘年会	シダックス(カラオケ)	16	0	16
4	1	24	新年会	しらとり会 4階 食堂	9	2	11
実施回数		4回		合計	51	3	54

(*参加利用者平均 14人)

⑥利用者企画(同好会)

【目的】

- ・利用者が主体となり企画・運営することにより、利用者の意欲を高めるとともに、利用者同士のつながりを深める機会とする。

【実施内容】

- ・平成27年度は、「パソコン同好会」と「カレーを食べる会」は未実施で、「おりょうりクラブ」のみ実施した。

【評価と課題】

- ・利用者より相談があれば対応できるよう体制を整えておく。

■「おりょうりクラブ」

【目的】

- ・1人暮らしになったとき、料理ができるよう練習したい。

【実施内容】

- ・毎月1回、実施した。
- ・担当制とし、メニュー決め、企画書の作成、集金、活動記録の記入などを、その月ごとの担当の利

用者が中心となって行い、買い物、調理、片づけは、皆で行った。

【評価と課題】

- ・利用者より「いろいろ作れて良かった。皆から会費を集めることができて良かった」、「他のメンバーも一生懸命やっていると感じた」、「同じ失敗を繰り返さないようになった」、「皆が食べたいような料理を作りたい。1人で作れる簡単な料理も作りたい」等の感想があった。
- ・メニュー決め、買い物、集金については、担当となった際、それぞれが責任をもって行うことができた。
- ・ボランティアが参加されることにより、調理でわからないことは、ボランティアに質問しながら行うことができるようになった。
- ・ボランティアが中心となって味付けや火を使う工程をしてもらったため、失敗することがなくなった反面、「以前は、家でも作りたいと思っていたが、今は自分が担当しなかった工程がわからない」との意見もあり、一人暮らしに向けて、今後、利用者がより主体的に調理していくための工夫を皆で考えていく必要がある。

表 15 平成27年度の「おりょうりクラブ」の実施状況

実施日		実施内容（献立）	参加人数（人）			参加費（円）	
月	日		利用者	ボランティア等	合計		
4	16	焼きそば	4	1	5	170	
5	28	他人どんぶり	4	1	5	290	
6	18	冷やしうどん	3	2	5	200	
						190	
7	15	他人どんぶり	3	2	5	220	
8	27	肉じゃが	4	4	8	260	
9	17	チキンカツカレー	3	3	6	270	
10	29	オムライス	3	3	6	190	
11	19	親子丼	5	3	8	260	
12	24	ハンバーグ	4	2	6	300	
1	21	焼きそば	4	3	7	200	
						190	
2	4	ビビンバ	3	3	6	260	
3	7	ミートソース	4	4	8	240	
3	28	反省会	6	1	7	—	
実施回数		13回	合計	50人	32	82	—

（※6月及び1月に参加費が複数あるのは、献立の量によって金額を変えたため）

⑦しらとり会ミーティング

【目的】

- ・しらとり会を利用する一人ひとりが意見を出し合い、しらとり会をより利用しやすくすることを目的として開催する。

【実施内容】

- ・毎月1回4階食堂で、午後1時より開催した。（日程はその都度調整）
- ・議題は、意見箱に入っていた意見と、利用者・職員から出た提案とした。
- ・しらとり会ミーティングは、参加者誰もが自分の思いを発言できる場であり、その思いを承認できる場とした。
- ・利用者と担当職員で、しらとり会ミーティングを運営するチームを作った。

- ・運営チームは、当日の進行など事前に打ち合わせを行い、初めて司会や書記に参加する利用者をサポートする役割や、ミーティングの議事録をまとめる役割を担った。
- ・開催にあたっては、あらかじめ通信でお知らせし参加を呼びかけた。
- ・開催後は、利用者全員と情報を共有できるよう、話し合いの内容を通信で知らせた。

【評価と課題】

- ・しらとり会ミーティングを運営するチームの利用者が中心となって司会、書記、事前の打ち合わせやまとめを行った。
- ・普段の月2回のしらとり会ミーティングチームでの打ち合わせ以外にも、必要時にはチームで集まり、話し合いを行った。(意見箱の用紙の様式案の作成、利用者心得の変更案の作成など)
- ・意見箱の様式を変更することで、以前よりも具体的な記入が増え、投書者がどんな思いで意見を書かれたのか、以前よりも推測しやすくなり、しらとり会ミーティングで意見についての協議を行いやすくなった。

表 16 平成27年度のしらとり会ミーティングの実施状況

実施月日 月 日		実施内容 (議題等)	参加者数 (人)		
			利用者	職員他	合計
4	10	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱より ・評議員会の報告 ・トイレの足型シールについて ・利用者の投稿通信について ・AEDの設置場所について ・レクリエーション委員より (花見について) ・喫煙場所の椅子がぬれていることについて 	22	7	29
5	11	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱より ・トイレの足型シールについて ・ムカデに注意してほしい ・レクリエーション委員より (アンケートの実施について) ・利用者の投稿通信について 	18	6	24
6	11	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱より ・ボンゴにメモ帳とペンを置いてほしい ・静養室の冷房について ・意見箱の用紙の様式について ・レクリエーション委員より (アンケートの結果について) ・通信編集委員より ・パソコン講習会について 	14	5	19
7	10	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱より ・レクリエーション委員より (海水浴について) ・意見箱の用紙の様式について ・3階の作業室の扇風機の台数について 	18	7	25
8	11	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱より ・評議員について ・大掃除の実施について ・薄型テレビについて 	15	6	21
9	10	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱より ・かき氷 ・お茶をホットにする時期について ・年賀状の住所録について ・合同面接会について 	19	4	23

実施月日		実施内容（議題等）	参加者数（人）			
月	日		利用者	職員他	合計	
10	8	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱より ・年賀状の住所録について ・赤い羽根共同募金について ・避難訓練について ・就労セミナーについて ・インフルエンザの予防接種について 	14	6	20	
11	6	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱より ・年賀状の住所録について ・風邪の予防について ・インフルエンザの予防接種について ・きょうされんの物品販売について ・レクリエーション委員より（忘年会について） 	17	7	24	
12	8	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱より ・自転車、自動車の交通規則が厳しくなることについて ・レクリエーション委員より（新年会について）（忘年会について） ・落とし物の保管について ・生協ひろしま様からの寄贈品について ・マツダ労働組合様からのプレゼントについて ・パイロットクラブ様からのプレゼントについて ・大掃除について ・遊休品バザーについて 	22	9	31	
1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱より ・言葉の暴力について ・レクリエーション委員より（新年会について） ・施設交流会について ・避難訓練について ・落とし物について ・タバコを吸う際のマナーについて 	17	7	24	
2	9	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱より ・椅子を利用した際のマナーについて ・2階のテーブル利用時のマナーについて ・ストープ利用時のマナーについて ・避難訓練について ・しらとり会利用者心得について ・落とし物の報告 ・使用済みの割り箸について ・4階のゴミ箱について ・風邪の予防について 	20	9	29	
3	9	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱より ・利用者心得について ・4階のゴミ箱について ・アンケートのお願い ・平成28年度の事業計画案について ・落とし物の報告 ・レクリエーション委員より（花見について） 	19	9	28	
実施回数		12回	合計	215	82	297

（*職員等には職員のほか実習生を含む）

⑧「ピアサロンこころ」への支援

【目的】

- ・同じ障害や病気をもつ者同士が、互いに支え合える関係になっていくことを支援する。

【実施内容】

- ・東広島市総合福祉センターにて実施した。
- ・会場を借りる手続き等は、すべて「ピアサロンこころ」の代表者が行った。
- ・基本的には、参加者が自由に話を進め、必要時に職員がサポートを行った。

【評価と課題】

- ・毎月の例会は、当事者が主体的に準備及び進行を行うことができている。
- ・長年、継続して活動していることが認められ、代表が市の障害者計画策定の課題別分科会の委員に就任し、会議へ参加している。
- ・参加者の増えていないことについて、平成27年度は具体的な対応策を検討することができなかったため、参加している当事者と共に、今後は増やしていく方法等を検討していく。

表 17 平成27年度の「ピアサロンこころ」の実施状況

開催日		参加者数(人)		
月	日	利用者	職員等	計
4	4	2	1	3
5	2	3	1	4
6	6	4	1	5
7	4	4	1	5
8	1	2	1	3
9	5	3	1	4
10	10	1	1	2
11	7	3	1	4
12	5	4	1	5
1	9	3	1	4
2	6	1	1	2
3	5	2	1	3
合計 12回		32	12	44

⑨地域サロンへの支援

【目的】

- ・精神障害者が一市民として地域の方々と交流ができる場の充実を図る。

【実施内容】

- ・松賀サロンを通して、地域の方々との交流を図った。(4回開催)

【評価と課題】

- ・1名が新たに松賀サロンにつながる事ができた。
- ・利用者への周知が課題である。
- ・食事会など無料での参加の企画に対して、相互関係が作れるよう実費負担を検討していく。

表 18 平成27年度の「松賀サロン」での地域の方々との交流の状況

開催日		企画内容等	参加者数 (利用者)
月	日		
9	17	食事会	2人
12	3	忘年会(みはらし温泉)	3
1	17	とんど	6
3	17	食事会	3
合計4回		合計	14人

⑩フットサル

【目的】

- ・フットサルを通して健康な体づくりと当事者同士の交流を図る。

【実施内容】

- ・フットサルを通して、健康的な体づくり、利用者同士のつながりを深めるために実施した。

【評価と課題】

- ・普段、ほとんど自宅で過ごしている利用者が新たに参加し、フットサルには継続して参加することができており、交流の機会となっている。
- ・東広島の他の事業所や三原市の当事者の参加もあり、広く認知されてきている。
- ・参加者から体を動かして、心身共に調子が良いので回数を増やして欲しいという声もあり、実施回数についても検討していく。

表 19 平成 27 年度の「フットサル」の実施状況

月	日 (曜日)	場 所	参加者数 (人)				
			当事者		職員等*	合計	
			しらとり会	しらとり会外			
4	—	*雨天のため中止	—	—	—	—	
5	17(日)	東広島運動公園	6	0	3	9	
6	28(日)	東広島運動公園	5	1	1	7	
7	21(土)	東広島運動公園	6	1	2	9	
8	29(土)	東広島運動公園	8	1	1	10	
9	27(日)	東広島運動公園	4	2	1	7	
10	18(日)	東広島運動公園	5	2	1	8	
11	21(土)	東広島運動公園	7	2	3	12	
12	27(日)	東広島運動公園	6	2	1	9	
1	30(土)	東広島運動公園	6	2	1	9	
2	—	*雨天のため中止	—	—	—	—	
3	27(日)	東広島運動公園	6	1	1	8	
実施回数		10回	合計	59	14	15	88

(*職員等には、しらとり会の職員のほか、他事業所の職員を含む)

⑪通信

【目的】

- ・皆が地域で安心して生活していくために、健康・福祉に関する情報等を発信する。
- ・しらとり会が実施していること等を知ってもらうため、また、精神保健福祉等に関する情報を利用者等と共に考えていくきっかけのために発行する。

【実施内容】

(企画・編集について)

- ・1面の各月の内容については、表 20 の通りである。
- ・2面は、しらとり会ミーティングの報告、活動報告を掲載した。
- ・3面と4面は、まほろばの行事の詳細や、ピアサポーターミーティングの活動報告、なかよし・まほろばの月間の予定表等を掲載した。
- ・利用者の声を受け、利用者による通信作成委員会を立ち上げ、利用者の通信『旅立ち』を平成27年6月より発行している。

(発行・配布について)

- ・毎月1回、1日(ただし、1月は4日)に発行した。
- ・毎月約450部を印刷し、利用者、関係者、市内の事業所等の他、県内の相談支援事業所、病院、行政等の関係機関や市役所の社会福祉課を通して市内の民生委員・児童委員へ配布した。また、平成

- 27年度より、経費削減のため、発送方法を新たにメール（32件/月）でも実施した。
- ・通信の送付を希望しているボランティアの方には、利用者からの手紙を添えて送付した。

表 20 平成27年度の通信（1面）の内容

発行月	内 容 等
4	日本財団より福祉車両を寄付していただきました
5	第4期東広島市障害福祉計画について
6	「生活困窮者自立支援制度」について
7	「自転車に対する道路交通法の改正」について
8	「民法」の改正について
9	寂しいときの対処方法について
10	マイナンバー制度について
11	スポーツの秋を楽しみませんか？
12	障害年金の初診日を確認する方法が広がります
1	新年のあいさつ、「新年の抱負」
2	「障害者差別解消法」について（その①）
3	「障害者差別解消法」について（その②）
発行回数	12回

【評価と課題】

- ・民生委員の方より「1面で社会情勢のことや福祉に関する情報を得られて、勉強になります」等の声があった。今後も、健康・福祉に関する情報を発信していく。
- ・家族の方より、記事（しらとり会ミーティング報告）を見て物品を寄贈していただいた。通信を通してしらとり会の実施状況を知ってもらうことができたため、今後もより多くの情報を掲載していく。
- ・1面は、毎月、職員会議でテーマを検討し決定、また一部の利用者から「〇〇を載せて欲しい」等の声を聞いて作成していった。今後は、計画的にテーマを決めていくために、より多くの利用者の声も反映させていくことが課題である。
- ・「旅立ち」を読んだ読者より、「〇〇さんの作品を読んで共感しました」「イラストを見て和みました」等の声があった。利用者の得意なことを生かす機会の一つとなったため、平成28年度も実施していく。
- ・通信をメールで送信したことで、通信費が多少削減できた。また、メール送信の読者の方より「データになってから保管しやすくなり便利です」の声をいただいたため、今後もメールで送れる機関等へは対応していく。

⑫学生実習（精神保健福祉士・その他）等の受け入れ

【目 的】

- ・学生が実習で利用者との関わりを通して、精神保健福祉の現状と利用者が抱える課題やニーズ、精神保健福祉士としての役割等について理解を深めるために実施する。
- ・利用者が当事者としての専門性を活かし、学生への指導や自らの体験を語ることで、自身を振り返る機会や、人前で話をする役割があることを実感できる機会とするために行う。

【実施内容】

- ・より多くの利用者に関わりをもってもらうために、まほろば・なかよし両方の事業所の実習を組んだ。
- ・実習プログラムに利用者が実習生に自らの体験を語る機会を取り入れた。
- ・実習生に対して、しらとり会概要説明チーム（ピアサポーター活動の一環）の利用者と共に事業所の概要の説明を行った。概要説明をする前に、概要説明チームで話をする場を設け、説明する内容を統一した。

表 21 平成 27 年度の実習受け入れの状況

対象資格等	実習依頼機関等		実習人数 (人)
精神保健福祉士	県立広島大学		1
	広島国際大学		2
	広島医療保健専門学校		1
	広島福祉専門学校		2
	日本福祉大学		1
依頼機関数	5 か所	合計	7

【評価と課題】

- ・学生を受け入れ実施したことで、養成校（大学や専門学校等）と協力・連携し人材育成に寄与することに繋がった。今後も出来るかぎり受け入れていく。
- ・利用者より「話をするだけで、今までの自身の振り返りや、今後どうしていきたいか等を考えるきっかけとなるので、実習生に説明する機会を増やして欲しいです」との意見があった。今後も、チームの利用者と共に実習生に事業所概要説明を行っていく。

⑬ミニ昼食会

【目的】

- ・準備や食事を一緒にすることを通して、利用者同士や地域のボランティアとのつながりを深めるきっかけとして実施する。

【実施内容】

- ・毎月 1 回、土曜日に実施した。
- ・メニュー決定は、利用者の声を聞きながら、季節感を取り入れた献立を考えた。
- ・地域のボランティアに協力を依頼した。
- ・利用者の金銭負担を軽減するために、参加費は 1 人 300 円とした。

【評価と課題】

- ・利用者もすすんで準備や調理、食後の食器洗い等を行った。
- ・地域のボランティアの参加があったときは、利用者とのよい関係ができていた。
- ・この企画があったことで、長い間利用がなかった利用者のまほろばへの再利用につながった。
- ・参加者の約 3 割が一人暮らしの方のため、今後も楽しく会食ができるように工夫していく。
- ・地域のボランティアの参加が少なかったため、参加していただけるボランティアを募っていく。

表 22 平成 27 年度のミニ昼食会の実施状況

実施月日 月 日	実 施 内 容 (献立等)	参加者数 (人)			参加費(円)	
		利用者	ボランティア	合計		
4 25	三色丼、味噌汁、酢の物、イチゴ	11	1	12	300 円	
5 30	タコスライス、スープ、ヨーグルト	8	1	9	300	
6 20	ビビンバ、チヂミ、スープ、プリン	11	1	12	300	
7 11	冷麺、豆腐ハンバーグ、浅漬け	8	1	9	300	
8 22	麻婆ナス丼、サラダ、味噌汁、白玉	8	0	8	300	
9 26	炊き込みご飯、煮物、味噌汁、ゼリー	3	0	3	300	
10 3	ミートスパゲティ、スープ、サラダ、シュークリーム	5	0	5	300	
11 21	キムチ、塩鍋、栗饅頭、ヤクルト	7	0	7	300	
12 12	クリームスパゲティ、スープ、チョコレートケーキ	5	0	5	300	
1 30	お好み焼き、味噌汁、ヨーグルト	6	0	6	300	
2 27	シチュー、サラダ、ヨーグルト	8	0	8	300	
3 19	ちらし寿司、お吸い物、胡麻和え、プリン	6	0	6	300	
実施回数	12 回	合計	86	4	90	—

⑭地域行事への参加（バザー等）

【目的】

- ・しらとり会の活動について知ってもらう場として活用する。
- ・しらとり会の活動資金を得る場とする。

【実施内容】

- ・平成27年度は、5つの地域行事等へ参加した。

【評価と課題】

- ・高美が丘の夏祭りでは、たこ飯の販売を楽しみにしている方もあり、平成28年度も誘いがあれば参加について前向きに検討していく。
- ・今後も地域との交流を促進していくために、その他の行事等についても依頼があれば前向きに検討していく。

表 23 平成27年度の地域行事等への参加状況

参加月日		参加行事	会場	参加内容等	参加人数(人)	
月	日				利用者	職員
7	23	賀茂精神医療センター盆踊り大会	賀茂精神医療センター	ジュース販売	2	1
7	25	高美が丘夏祭り	高美が丘胡麻公園	たこ飯、ジュース販売	2	2
9	27	福祉の職場求人説明会	東広島市総合福祉センター	東広島市施設連協力	—	1
10	23	賀茂精神医療センター文化祭	賀茂精神医療センター	遊休品販売・パネル展示	1	1
11	7・8	東広島市健康福祉まつり	東広島市運動公園	パネル展示	—	1
参加回数		5回		合計	5	6

⑮家族への支援（家族のつどい）

【目的】

- ・家族が交流を通して、同じ悩みを持つ者としての共感や理解を深め、障害当事者にとってよりよい支援者になるよう、また家族自身が元気を取り戻すことができるように支援する。

【実施内容】

- ・しらとり会4階食堂で、2か月に1回、13:30～15:30で実施した。
- ・平成27年度は、19名の家族が参加し、そのうちしらとり会の利用者以外の家族の方は、6名だった。

表 24 平成27年度の「家族のつどい」の実施状況

実施日		参加者数(人)
月	日	
5	12	8人
7	10	11
9	8	8
11	10	11
1	19	8
3	22	8
6回実施	合計	54人

(*職員は除く)

【評価と課題】

- ・しらとり会の利用者以外の家族（当事者が入院中や家に引きこもりの状態等）や、最近ではしらとり会から足が遠のいている利用者の家族が参加し、家族としての苦労を分かち合う中で、つながりが生まれるようになり、終了後もお茶を飲みに行ったり、同じ趣味でつながるなど、日常的なつながりのきっかけづくりの場にもなっている。

- ・当事者が入院中の家族の方が参加することで、退院後の福祉サービスについて情報を得ることができ、退院に向けて当事者に話をしてみようと、前向きに取り組み始められた方もあった。
- ・参加者が固定化してきているため、より多くの家族の方への周知していくための方法を検討していく。

⑩「東広島精神保健福祉ボランティア講座」への協力

【目的】

- ・精神保健福祉における病気・障害について正しい知識と、地域住民への普及啓発活動を通して、自分らしく安心して過ごすことができるまちづくりを考えることや、人材育成を目的とした「精神保健福祉ボランティア講座」の実施を支援する。

【実施内容】

- ・ときわ台ホームの地域活動支援センターが事務局となり実施する、「東広島市精神保健福祉ボランティア講座」について、必要に応じて職員を派遣する等の支援を行った。

【評価と課題】

- ・東広島市内、市外から、さまざまな方が受講された。
- ・「普及啓発編」、「自分発見編」とともに、終了後のアンケートでは、ほとんどの方に「満足」、「ほぼ満足」との回答があり、「もっと学んでみたい」との意見も多かった。
- ・当事者スタッフや、しらとり会職員がボランティア講座のスタッフに加わることにより、今までの経験やノウハウを伝えることができたことは、評価できる。

(3) 住宅入居等支援事業

実 施 主 体	社会福祉法人しらとり会
事業を実施した 事業所及び所在地	地域生活支援センターまほろば (東広島市高屋町桧山267-1)
実 施 期 間	平成27年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日
利 用 者 数	0名
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none">・平成27年度は、対象者はいなかった。 (利用検討する人はいたが、実施にはいたらなかった)・研修会は2年に1度の開催のため、平成27年度は実施しなかった。・平成28年度に研修会を実施予定。

2. ワークセンターなかよし

(1) 就労継続支援B型事業

1. 利用者の状況

表1 平成27年度の各月の利用の状況

月	登録者数 (月末時点)	新規利用者数	退所者数	実利用者数	開所日数	1日あたりの平均利用者数		
						平成27年度	平成26年度	平成25年度
4	54人	2人	2人	43人	21日	23.0人	23.6人	20.1人
5	54	1	1	44	20	22.0	24.0	20.2
6	52	0	2	39	22	22.4	23.3	21.6
7	53	1	0	37	22	21.1	24.0	22.2
8	54	1	0	35	20	21.4	23.3	20.8
9	56	3	1	37	20	22.6	24.2	22.2
10	56	0	0	38	21	21.0	22.1	21.8
11	56	0	0	37	20	21.0	22.3	23.9
12	56	1	1	41	20	23.0	20.6	22.0
1	58	2	0	41	20	20.0	21.8	22.2
2	58	0	0	44	20	23.0	23.0	21.5
3	57	0	1	39	20	22.0	24.3	23.5
合計		11人	8人	475人	*(20.5)	*(21.8)	*(23.0)	*(21.8)

(*下段の()は、その年度の平均を示す)

・平成26年度と比較し、平成27年度は1日あたりの平均利用者数が若干減少した。(毎日通所していた利用者が就職したこと等による)

表2 平成27年度の利用状況

項目	平成27年度	参 考			
		平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
月平均利用者数	39.6人	40.3人	38.5人	33.8人	32人
月平均開所数	20.5日	20日	20日	20日	20日
1日平均利用者数	21.8人	23.0人	21.8人	18.9人	20.8人

表3 平成27年度末の登録者の性別及び年齢別構成

項目		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
年度末現在の登録者数		57	54人	48人	43人
性別	男性	46	40	36	31
	女性	11	14	12	12
年齢別	10歳代	0	0	1	0
	20歳代	3	1	2	5
	30歳代	18	21	18	18
	40歳代	20	16	13	10
	50歳代	10	13	11	7
	60歳代	6	3	3	3

- ・1日あたりの利用者数は若干減っているものの、登録者数は増加傾向にある。
- ・年々、利用者の年齢層があがってきている。(60歳代：6人)

表4 平成27年度中の新規利用者及び退所者の状況

新規利用者数	11人		
退所者数	8人		
	内 訳	他事業所利用	3人
		入 院	0人
		そ の 他	1人
		在 宅	4人
転居（他市）		0人	

・新規利用者の紹介経路は、まほろばの相談支援専門員から7人、他の事業所の相談支援専門員からの紹介が2人、医療機関からの紹介が2人だった。

表5 平成27年度中の就労に関する関係機関等との連携

機 関 等	同行及び面接	実習*
ハローワーク	6件	—
就業・生活支援センター	0件	—
企業等	3件	2件
合 計	9件	2件

・今年度、3名の方が、一般企業への就職にチャレンジし就職した。（現在も在職している）
（*6月・7月・11月に就職）

2. 活動の状況

(1) 重点項目

1. 一人ひとりが大事にされる環境の整備・充実

- ・利用者の求める生活を実現するため、利用者のニーズに基づいた個別支援計画を作成し、支援していく。
- ・個別支援計画に基づき、個別に振り返りを行う。
- ・ミーティング等を活用し、全員が安心して、利用できるよう、利用者・職員がともに意見を出し合い、今後のなかよしについて一緒に考えていく。

2. 作業活動の充実

- 〔 ・工賃向上計画に沿って、工賃アップを目指し、新しい作業の導入等を進めていく。 〕

（評価と課題）

○一人ひとりが、大事にされる環境の整備・充実

- ・随時、面接等を行い、ご本人の状況や、困っていること等を把握し、相談支援専門員等と連携をしながら、個別支援計画に沿った支援を行ってきた。利用者の障害種別も多岐に渡っており、事業所内外で、連携をしながら、ひとり一人の状況に配慮をした支援を行ってきた。
- ・作業活動を支援していく中で、作業スペースの工夫や、写真等の画像を活用したマニュアル作成についても、必要性が高まってきたため、マニュアル作成を始めたところである。
- ・個々の支援と並行しながら、状況に合わせて、作業ミーティングを活用し、環境の整備・充実に努めた。
- ・平成28年度については、個別支援計画に沿った支援を行うことと合わせて、多くの利用者に作業活動に参加してもらうため、作業スペースの工夫、マニュアル作成に取り組んでいく。

○作業活動の充実

（評価と課題）

- ・下請け作業、清掃作業が減っている。依頼があれば、個人宅への草取りについても行った。
（*平成27年度：3件）
- ・平成27年度は、子ども家庭課からの依頼で、乳幼児検診会場の設営作業を請け負った。定期

的に所外での作業があることは、作業をされる利用者にもモチベーションのアップにもつながった。この作業は、1年間通して取り組んだ。(ただし平成27年度のみ)

・「平成28年度も、定期的な所外での仕事も入れてほしい」という意見もあり、導入に向けて取り組んでいく。併せて、所内での下請け作業についても、利用者の作業状況等を丁寧にアセスメントし、新たな作業の導入を検討していく。

・平成27年度より、通所日数に応じて支給する手当(精勤手当)制度を創設し、実施をした。通所をするきっかけや、作業等に対する利用者のモチベーションのアップにもつながった。引き続き、平成28年度も実施をしていく。

(2) 具体的な作業活動の内容

・作業内容は、2つに分かれる。

①下請け作業 : ・菓子箱折り作業 (㈱さくらや)
・段ボールの組立て作業 (㈱広島キョードー)
・自動車部品の加工作業 (㈱山本製作所)
・自動車部品の加工作業 (㈲ライトプランニング)

②請負作業 : ・清掃作業 (㈲ぼけっと)
・地方情報誌の配布作業 (プレスネット折込センター)
・自動販売機の維持管理作業
・資源回収作業
・乳幼児健診会場設営(東広島市 子ども家庭課)

*その他、依頼に応じて、草取り作業(個人宅)を実施した。

(3) 工賃の状況

・工賃の計算方法については、次の計算方法による。

○1時間単価230円 × 各利用者の1か月の作業時間 = 各利用者の1か月の工賃

○清掃作業については、1時間あたり、

・3・4・5・9・10・11月 …… 500円
・6・7・8・12・1・2月 …… 550円 とする。

○地方情報誌の配布作業については、1回の配布につき、

・木曜日の配布作業 …… 800円(内訳 朝:140円、夕:660円)
・金曜日の配布作業 …… 650円

○草取り作業(個人宅)については、1時間あたり600円とした。

○乳幼児健診会場の設営作業については、1時間あたり500円とした。(※2時間の作業)

○精勤手当:平成27年度から創設したもので、利用者が作業活動等に積極的に参加するためのモチベーションアップを図るべく導入した。通所日数によって、工賃に加算するもので、5日~9日通所:300円、10日~14日通所:500円、15日~19日通所:800円、20日以上通所:1,000円とした。

■工賃向上計画(平成27年度~平成29年度) (*一部抜粋)

○向こう3年間の取り組み方針

- ・工賃アップに向けた新しい作業等の開拓。(官公需の積極的な推進)
- ・施設外作業等の拡大と就労支援の強化。(清掃作業等の導入・拡大)

○課題と対策(平成27年度)

- ・利用者の作業に対するモチベーションのアップを図るため、手当制度(通所日数に応じて支給する精勤手当)を実施。
- ・新しい作業(清掃、草取り作業や他の作業等)の開拓・実施。(工賃アップにつなげるため)

表6 平成27年度作業収入及び工賃等支出の状況

月	作業収入(円)						工賃等支出(円)								
	下請作業	清掃作業	草取り	地方紙配布作業	資源回収・自販機	検診会場設置	その他	合計	下請作業	清掃作業	草取り	検診会場設置	地方紙配布作業	精動手当	合計
4	190,606	22,400	10,000	20,138	6,000	18,000	0	267,144	326,547	17,000	8,400	17,000	17,200	23,200	409,347
5	90,235	22,400	0	19,772	6,000	18,000	23,000	179,407	255,595	17,000	13,050	16,000	12,400	21,000	335,045
6	150,036	22,400	0	19,886	6,000	18,000	0	216,322	314,359	17,600	6,000	15,000	12,400	22,900	388,259
7	144,735	22,400	18,000	19,772	6,000	18,000	0	228,907	301,249	17,600	0	20,000	17,200	22,000	378,049
8	163,028	17,400	0	14,829	6,000	18,000	0	219,257	272,040	15,400	0	10,000	7,400	20,000	324,840
9	148,017	17,400	7,200	19,772	6,000	18,000	0	216,389	289,233	14,000	5,400	20,000	14,800	20,400	363,833
10	165,074	17,400	0	26,225	6,000	18,000	0	232,699	272,729	13,000	0	8,000	18,500	20,800	333,029
11	170,930	17,400	0	20,802	6,000	18,000	0	233,132	268,474	14,000	0	16,000	14,800	19,500	332,774
12	157,536	17,400	0	14,829	6,000	18,000	3,000	216,765	275,837	15,400	13,500	15,000	14,800	20,900	355,437
1	165,122	17,400	20,000	19,886	6,000	18,000	0	246,408	256,115	14,300	900	15,000	9,760	17,800	313,895
2	162,367	17,400	0	19,772	6,000	18,000	0	223,539	293,718	15,400	0	14,000	14,800	20,500	358,418
3	155,874	17,400	0	19,886	6,000	18,000	29,610	246,770	279,630	14,000	0	15,000	15,900	20,700	345,230
計	1,863,560	228,800	55,200	235,569	72,000	216,000	55,610	2,726,739	3,405,526	184,700	47,250	181,000	169,960	249,700	4,238,156
													雑費(振込手数料等)		9,009
合計(A)													合計(B)		4,247,165

作業収入(A)2,726,739円－工賃等支出(B)4,247,165円＝▲1,520,426円

- ・利用者それぞれの作業時間に応じて、工賃を支給した。(表6・7)
- ・平成27年度の年間の平均工賃は9,069円であった。(＊平成26年度平均工賃：8,116円)
- ・精勤手当を導入したことも功を奏したか、平成26年度より953円のアップとなった。
- ・作業収入については、2,726,739円であった。(平成26年度 2,545,486円)
- ・作業収入としては、平成26年度と比較して、181,253円のアップとなった。
- ・平成27年度も作業収入に比べ、工賃等の支出が大幅に上回っており、収入をどうあげていくかは、平成28年度の課題である。

表7 平成27年度の各月の平均工賃

月	平成27年度	平成26年度
4	9,520円	9,552円
5	7,615	8,455
6	10,493	8,617
7	9,694	9,180
8	9,281	7,926
9	9,833	9,043
10	9,000	8,228
11	9,244	6,678
12	9,114	6,825
1	7,847	6,865
2	8,335	6,860
3	8,852	9,150
平均	(9,069円)	(8,116円)

(4) 各作業等の具体的な取り組みについて

○下請け作業

■段ボールの組立て作業 (㈱広島キョードー)

【実施内容】

- ・不良品や数に間違いが出ないように、完成品のチェック等を利用者同士で確認し合った。
- ・ミーティングで話し合い、利用者・職員で改善に向けて取組んだ。

【評価と課題】

- ・作業に入る利用者も固定化してきており、結束のミスなどもほとんどなく作業を進めることができた。
- ・入ってくる材料が減ってきているため、企業へ依頼していく。
- ・今後も作業ミーティングを活用し、利用者・職員で話し合い改善に向け取り組んでいく。

■菓子箱折り作業 (㈱さくらや)

【実施内容】

- ・連休前やお盆前・年末など、納品数が増える時期は、一日の目標数を定めて行うなど、納期に間に合うよう取組んだ。
- ・新規の利用者や作業が苦手な利用者には利用者同士で教えあったり、職員がサポートするなどして、多くの利用者が作業に入れるようにした。
- ・必要に応じて、ミーティングで話し合いを行った。

【評価と課題】

- ・折り間違いや箱の破れ等の不良品が出ないようにと、完成品のチェックを行うようになってからは、不良品が減ってきた。
- ・忙しくなる時期には、事前に材料を出してもらうことができたので、あまり利用者の負担になることもなく、納期に間に合うように作業を進めることができた。
- ・ミーティングを活用し、作業のやり方等について確認し合いながら作業を進めることができた。今後もミーティング等を活用し取り組んでいく。

■自動車部品の加工作業（榑山本製作所）

【実施内容】

- ・分担して作業を行うため、それぞれがお互いの役割を把握して作業を進めることができるよう、作業を始める前に分担箇所を決めてから作業に臨んだ。
- ・材料請け、納期の確認、在庫管理は、利用者が主体的に取り組むことができていた。納品や材料請けは、特に数が多い時などは2人体制で行うようにしていった。

【評価と課題】

- ・作業に入る利用者同士で声を掛け合って、不良品が出ないように作業を進めることができた。
- ・納期の確認や在庫管理等も、利用者が率先して行うことができていた。

■自動車部品の加工作業（榑ライトプランニング）

【実施内容】

- ・自動車部品の加工（部品へのシール貼り及び金具の取り付け等）作業を行った。
- ・年度途中より、新たに自動車部品の点検作業に取り組んだ。

【評価と課題】

- ・流れ作業にすることで効率もあがり、入荷数を増やすことができた。
- ・作業に入る利用者も増えてきた。
- ・年度途中より新たな作業も入ってきたため、安定して作業を提供することができた。

○請負作業

■清掃作業（榑ぼけっと）

【実施内容】

- ・アパートの共有部分（玄関・廊下・階段・周囲等）の清掃作業を行った。
- ・参加者を募集して1か月ごとにシフト表を作成し、作業を実施した。
- ・初めての参加者には、職員がサポートしながら行った。
- ・個人宅の草取り作業については、依頼に応じて随時対応していった。
- ・月に一度、ミーティングを行った。

【評価と課題】

- ・それぞれが自分の役割を理解し、利用者が率先して準備から作業・片付けまで行うことができていた。
- ・依頼箇所が減ってきているため、平成28年度は市内の不動産屋等と交渉したり、チラシ等を配して、拡大に向けて取組んでいく。

■地方情報誌（プレスネット）の配布作業

【実施内容】

- ・木曜日及び金曜日に、原則、通常の作業時間外で行った。
- ・2人～3人の固定の利用者の参加となった。
- ・月に一度ミーティングを実施し、シフト表を作成し実施した。

【評価と課題】

- ・作業に参加する人数が減ったため、状況に応じて、作業時間内に配布したり、3人での配布作業を2人で行うなど工夫して対応した。
- ・今後も引き続き、工賃アップや一般就労に向けての体力づくりを目指す利用者のニーズに合わせた作業として取り組んでいく。

■自動販売機の維持管理作業

【実施内容】

- ・週に1～2回程度を目安に補充作業を行い、月1回程度売上金の計算作業を行った。
- ・商品の補充、売上金計算作業とも利用者・職員で一緒に行った。
- ・売り切れ商品があると利用者が主体的に補充作業を行うなどして、できるだけ売り切れの状態が続かないように対応した。

【評価と課題】

- ・季節の変わり目（ホット⇄コールド）の切り換えや、商品の品切れ等に注意し、在庫管理に気をつけていく。

■資源回収作業

【実施内容】

- ・依頼があった方については、毎週水曜日に回収を行った。
- ・新聞・雑誌・段ボール等の仕分け作業については2か月に1回の割合で、空き缶つぶしや仕分け等の作業については3か月に1回の割合で行い、リサイクル業者に持って行った。

【評価と課題】

- ・こまめに新聞や雑誌、ダンボール等を持って来てくださる地域の方がおられる。
- ・回収したものが溜まりすぎると置き場所に困ることがあるので、定期的に仕分け等の作業を行っていく。

■その他の作業等（行政等からの受注）

【実施内容】

- ・平成27年度は、子ども家庭課より、3～4か月・1歳6か月・3歳児検診のための会場設営を行った。（月3回、年間36回）

【評価と課題】

- ・平成28年度についても、行政等に働きかけを行っていく。

3. その他の活動

■なかよしミーティング

【実施内容】

- ・なかよしミーティング：原則、毎週月曜日のミーティング終了後に実施した。
- ・作業ミーティング：工賃支給日の朝、実施した。
- ・その時々々の作業についてや、なかよし全体の活動等について意見を出し合った。
- ・ミーティングの司会や書記を利用者に担当してもらい、利用者主体で進めていった。

【評価と課題】

- ・なかよしミーティングについては、意見等なく実施しない月が多かった。（作業については、作業ミーティングで話し合いを行った）
- ・作業ミーティングでは、利用者からも積極的に意見が出てくるようになった。
- ・引き続き、職員が司会者や書記の方をフォローすることでより意見が出やすいように支援していく。

表8 平成27年度なかよしミーティングの実施状況

実施日		内 容（議 題）	参加者数(人) (利用者)
月	日		
4	13	・作業等に関する思い・感想等	7人
5	—	(実施せず)	—
6	22	・結束機の油さしについて ・メモ用紙の設置について	9
7	13	・新しい作業の依頼について ・トイレの使用について	12
8	—	(実施せず)	—
9	—	(実施せず)	—
10	—	(実施せず)	—
11	—	(実施せず)	—
12	—	(実施せず)	—
1	—	(実施せず)	—
2	—	(実施せず)	—
3	14	・掃除分担について ・さくらやの内箱折りの作業について	12
4回実施		合 計	40人

表9 平成27年度作業ミーティングの実施状況

実施日		内 容 (議 題)	参加者数(人) (利用者)
月	日		
4	24	・新しい作業の説明について ・メモ用紙の設置について	20人
5	25	・作業等に関する思い・感想等	11
6	—	(実施せず)	—
7	25	・作業時に使う備品(スリッパ)の購入について	11
8	25	・作業等に関する思い・感想等	10
9	25	・作業等に関する思い・感想等	9
10	23	・作業開始前の体操について ・作業開始前の一言発言について	10
11	25	・掃除分担について	12
12	—	(実施せず)	—
1	25	・作業等に関する思い・感想等	8
2	25	・作業等に関する思い・感想等	9
3	24	・さくらやの内箱折りの作業について ・山本製作所の作業について(備品準備をして欲しい)	11
10回実施		合 計	111人

*6月・12月については、作業等の都合により実施しなかった。

■利用者との振り返り

【実施内容】

・面接等を行い、個別支援計画の作成(変更)およびモニタリングを行った。

【評価と課題】

・定期的に振り返りを行う予定であったが、計画通りにはいかなかった。
・平成28年度は、個別支援計画に振り返りの日程等を入れていくこと等により、計画的に行っていく。

■健康管理

【実施内容】

・各作業フロアに、転倒災害防止及び時期に応じて熱中症、インフルエンザ等のポスター等を掲示し、利用者に注意を促した。

【評価と課題】

・今後も、所内の安全面に注意していくとともに、必要に応じて医療機関等と連携を図りながら健康の維持にも努めていく。

■就職に向けての支援・就職後のフォローアップ

【実施内容】

・平成27年度中に一般就労等にチャレンジした利用者は3人であった。その3人が就職へ結びついた。

・就職後も、職場定着に向けてハローワーク等とも連携し支援を行った。

【評価と課題】

・平成27年度も、関係機関等と連携を取りながら就職に繋げることができた。就職後の支援についても、必要に応じてハローワークの担当職員等とも連携を図りながら行った。
・今後も、利用者のニーズに基づき、関係機関(ハローワーク・就業・生活支援センター等)とも連携しながら、就職に向けての支援及び、就職後のフォローアップを行っていく。

■送迎

【実施内容】

- ・平成27年4月より、週3日（月・水・金）朝・夕に実施した。
- ・ルートは、総合福祉センター・西条駅方面及び、西高屋駅方面とした。

【評価と課題】

- ・新規の利用者で、送迎があることで利用できるようになった方や、引きこもっていた方が送迎を利用することで通所する機会（回数）が増えた方がいた等の効果があった。
- ・職員体制や経費の面から実施日数を増やすことは難しいが、平成28年度も、引き続き送迎を行っていく。

表 10 平成27年度の送迎の実施状況

月	実施日数	実利用者数	延利用者数
4	12日	8人	43人
5	11	6	59
6	13	7	70
7	12	9	75
8	12	9	104
9	11	9	92
10	12	10	76
11	13	10	115
12	12	10	104
1	12	12	99
2	13	13	110
3	12	10	88
平均	(12日)	(9人)	(86人)

(*送迎1回(片道)の平均乗車人数：3.5人)

(2) 自立訓練（生活訓練）事業

1. 平成27年度の実施状況

表 11 年間（平成27年度）を通しての実利用者数

	年間の 実利用者数	昨年度からの 継続利用者	新規利用者		
			しらとり会の相談支 援専門員からの紹介	その他の関係機関（市 役所、市内の精神科病 院等）からの紹介	
平成26年度	24人	16人	8人	3人	5人
平成27年度	23	14	9	4	5

表 12 平成27年度の各月の利用状況

月	実利用者数	新規利用者数	利用終了者数 (※1)	中途退所者数 (※2)	1日あたりの 平均利用者数	開所数	延べ利 用者数
4	14人	1人	1人	0人	3.4人	21日	73人
5	14	3	2	0	3.8	18	70
6	15	2	1	1	3.4	21	72
7	15	0	0	0	3.1	21	67
8	15	0	1	0	3.2	18	58
9	14	2	0	1	4.3	19	83
10	15	0	0	0	3.8	21	81
11	15	0	0	3	3.7	19	72
12	12	0	1	1	3.1	19	60
1	10	1	0	0	3.2	19	62
2	11	0	0	0	3.3	20	66
3	11	0	0	0	3	22	66
	平均13人	合計9人	合計6人	合計6人	平均3.4人	平均19日	—

(※1：利用終了者とは、その月の末日に2年間の利用期間を終えた利用者のこと)

(※2：中途退所者とは、2年未満で利用を終了した利用者のこと)

表 13 平成27年度の平均の利用状況

	平成27年度	平成26年度
月平均実利用者数	13人	16人
月平均開所数	19日	21日
1日平均利用者数	3.4人	3.4人

【支援目標】

- ・利用者一人ひとりが描いている生活のイメージや現在の生活状況について話を聞き、希望や目標に近づくための方法を一緒に考えていく。
- ・実際の生活に近い体験等を行うことを通して、社会生活力やコミュニケーションの向上を図ることを支援していく。
- ・利用者一人ひとりの支援目標に対して、モニタリング・計画の修正等を行いながら、利用者のエンパワメントが図れるように支援していく。

【評価と課題】

- ・利用者の目標に向けて、本人ができるような工夫を考えて実践することで、利用者自身のできる事が増え、目標達成に近づくことができた。
- ・利用者のペースに合わせて訓練等行ったことで、利用者の個々の目標を達成することに繋がった。

・モニタリングは6か月に1回、退院直後で一人暮らしの方や初めて福祉サービスを利用する方には1か月に1回行った。利用者の状況に応じてモニタリングの頻度を調整したことで、利用者と共に目標や実施内容の確認や計画の修正することができた。しかし、利用期間が2年間のため、今後は利用終了後を視野に入れたモニタリングが課題である。

【重点項目】

- 1) 個別支援計画の作成
 - ・利用者一人ひとりに個別支援計画を作成し、計画に基づいた支援を行う。
- 2) プログラムの充実
 - ・利用者同士が相互に影響し合いながら、変化・成長していくことを目的に、グループワークをプログラムに取り入れていく。また、利用者の声を聞き、新たなプログラムを検討していく。
- 3) 関係機関への周知
 - ・関係機関（保健・医療）・相談支援事業所等に生活訓練事業の周知を行っていくために、新たなパンフレットを関係機関や相談支援事業所に置かせてもらう等、情報提供や実践報告する機会を作る。

【評価と課題】

- ・新たなパンフレットに写真を掲載したことで、以前のパンフレット（文字のみ）よりも視覚的に伝えやすくなったことは評価できる。今後は、DVDの作成等、利用者や関係機関に情報提供できるような工夫を考えていくことが課題である。
- ・プログラムの充実について、新たなプログラムまでには至らなかった。今後は、全国的に先駆的な取り組みを実施している事業所の情報を収集し、検討していくことが課題である。
- ・平成27年12月16日（水）開催された「東広島市自立支援協議会精神保健福祉部会」で、事業の実践報告・情報提供を行ったことで、参加者（保健師等）の方々に知ってもらいきっかけとなったことは評価できる。
- ・実利用者数をみると、平成26年度とほぼ横倍と定員6名に達していないため、利用者を増やしていくことが課題である。そのために、今後も利用者の声を聞き、ニーズの掘り起こしをしていくことが必要である。

【通所、訪問・同行プログラム】

【実施内容】

・訓練内容と訓練方法別（通所・訪問・同行）利用人数は表14のとおり。利用者の中には、生活訓練の目標が1つの方、或いは目標が複数（2つ以上）の方がいた。利用者一人ひとりのニーズに応じて、また、体調に合わせて臨機応変に対応し、通所と訪問を組み合わせた訓練を行った。

表14 訓練内容と訓練方法別（通所・訪問・同行）の利用人数

訓練方法		訓練内容	利用者数
通所	個別	生活リズムの習得	3人
		適切な人間関係の構築を図るための基礎を取得	1
		金銭管理の習得	1
		健康管理の習得	1
	GW	調理方法の習得（「プチクッキング」）	6
【訪問：個別】	健康管理の習得（会話で対処方法を習得）		4
	家事全般の習得	調理	12
		洗濯	6
		掃除・片付け	9
		ごみの分別・捨て方	4
	子育てについて		2
金銭管理の習得		1	

訓練方法	訓練内容	利用者数
【同行：個別】	日常生活関連動作の習得（買い物）	5
	退院後の生活に慣れる	4
	自分自身の症状を主治医に伝える力の習得	1
	健康管理（ウォーキング）	3
	事業所等への見学・参加	1
	外出することの獲得	2

*数字について：目標が複数の場合、それぞれの目標にカウントしている。

【実施内容】

①通所プログラム

- ・利用者の個々のニーズに沿って、生活のスキルの向上を目指し実施した。（表14）

【評価と課題】

・利用者（Aさん）より「友達の話を聞いて同情して苦しくなっていたのですが、自分と友達の気持ちを区別して聞くことを意識することで、客観的に話を聞けるようになりました」という声があった。また、関係機関より「Aさんは、自分の気持ちを言葉で表現できるようになりましたね」との声もあったため、利用者の生活のスキルの向上に繋がったことは評価できる。

《プチクッキング》

【実施内容】

- ・少人数（最大でも4名）で行い、個別の関わりをより充実させ、料理について、より深く学べるよう支援していった。
- ・原則、毎週月曜日・水曜日・金曜日 11:30～13:00に実施した。会場は、しらとり会4階食堂を使用した。
- ・プチクッキングのミーティングを年2回実施し、振り返りや今後の要望等について話し合った。

表15 「プチクッキング」のミーティングの実施状況

回	日 時	参加者数	内 容 等
1	6月22日（月）10:00～11:00	6人	平成27年度前半の振り返り、今後について 他
2	1月13日（水）10:00～11:00	2人	平成27年度後半の振り返り、今後について 他

（*参加者数には職員は含まない）

【評価と課題】

・利用者より「初めて使う調味料で料理を学べて良かったです」、「プチクッキングで同じメニューを何度か作ったことで、一人で作れるようになりました」等の声があり、支援目標達成に近づくことが出来たことは評価できる。しかし、プチクッキングの利用者が減少しているため、新規利用者を増やす等の工夫が必要である。

②訪問・同行プログラム

【実施内容】

- ・利用者一人ひとりのニーズに沿って、ご自宅への訪問・同行支援を行った。また、病院から退院後など、初めて一人暮らしをする方の生活力のアセスメントとして活用し、よりよい福祉サービスに繋げることを支援していった。
- ・引きこもりや精神科病院に長期入院していた利用者等、通所による訓練が難しい新規利用者2名に対して、各々訪問による支援を実施した。その効果について、東広島市自立支援協議会の中の精神保健福祉部会等で情報発信をした。

【評価と課題】

- ・アセスメントの活用により、利用のニーズ把握や利用者理解に繋がった。しかし、利用期間が2年

間のため、利用2年目に入った時等に利用終了後を視野に入れた支援が課題である。

・生活訓練事業を利用する前、外出は月に1回の通院のみで、その他の日は家で過ごしていた利用者が、利用後は外出できる頻度が少しずつ増えた。これは、利用者との関係性を築きながら一緒に取り組んできたもので、目標達成に近づくことができたことは評価できる。今後は、引きこもりの方への支援を昨年度よりも力を入れていくために、全国的に先駆的な取り組みを行っている事業所の情報収集を行っていくことが課題である。

・利用者の中には、訪問までの時間が待てず予定を入れてしまいキャンセル、という方がおられた。今後は、相談支援専門員と連携し、その方の障害特性に合わせた支援の工夫をしていくことが課題である。

○その他

(職員の生活訓練ミーティング)

【実施内容】

・2か月に1回、10時から11時の間、相談支援専門員と生活訓練の担当職員が参加し実施した。

【評価と課題】

・訓練プログラムの報告や実施内容の検討、利用者の状況について、職員間で情報の共有や方向性を確認することができたため、今後も実施していく。

3. その他の活動等

○平成27年度自殺対策電話相談事業

事業名	平成27年度自殺対策電話相談事業																															
実施期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日																															
電話相談件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>17件</td></tr> <tr><td>5</td><td>10</td></tr> <tr><td>6</td><td>10</td></tr> <tr><td>7</td><td>10</td></tr> <tr><td>8</td><td>2</td></tr> <tr><td>9</td><td>11</td></tr> </tbody> </table>	月	件数	4	17件	5	10	6	10	7	10	8	2	9	11	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>10</td><td>4</td></tr> <tr><td>11</td><td>4</td></tr> <tr><td>12</td><td>3</td></tr> <tr><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>8</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>合計</td><td>86件</td></tr> </tbody> </table>	月	件数	10	4	11	4	12	3	1	3	2	8	3	4	合計	86件
月	件数																															
4	17件																															
5	10																															
6	10																															
7	10																															
8	2																															
9	11																															
月	件数																															
10	4																															
11	4																															
12	3																															
1	3																															
2	8																															
3	4																															
合計	86件																															
内容等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>女性</td><td>31件</td></tr> <tr><td>男性</td><td>19</td></tr> <tr><td>不明</td><td>36</td></tr> <tr><td>合計</td><td>86件</td></tr> </tbody> </table>	性別	件数	女性	31件	男性	19	不明	36	合計	86件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢層</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>思春期(10～19歳)</td><td>2件</td></tr> <tr><td>成人(20～64歳)</td><td>42</td></tr> <tr><td>高齢者(65歳以上)</td><td>5</td></tr> <tr><td>不明</td><td>37</td></tr> <tr><td>合計</td><td>86件</td></tr> </tbody> </table>	年齢層	件数	思春期(10～19歳)	2件	成人(20～64歳)	42	高齢者(65歳以上)	5	不明	37	合計	86件								
性別	件数																															
女性	31件																															
男性	19																															
不明	36																															
合計	86件																															
年齢層	件数																															
思春期(10～19歳)	2件																															
成人(20～64歳)	42																															
高齢者(65歳以上)	5																															
不明	37																															
合計	86件																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容等</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>自分自身のこと(病気等)</td><td>33件</td></tr> <tr><td>家族のこと(夫、子ども、父母等)</td><td>21</td></tr> <tr><td>知人等(人間関係等)</td><td>8</td></tr> <tr><td>職場・仕事等</td><td>4</td></tr> <tr><td>その他(無言等)</td><td>40</td></tr> <tr><td>合計</td><td>106件</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(*複数回答あり)</p>		内容等	件数	自分自身のこと(病気等)	33件	家族のこと(夫、子ども、父母等)	21	知人等(人間関係等)	8	職場・仕事等	4	その他(無言等)	40	合計	106件																
内容等	件数																															
自分自身のこと(病気等)	33件																															
家族のこと(夫、子ども、父母等)	21																															
知人等(人間関係等)	8																															
職場・仕事等	4																															
その他(無言等)	40																															
合計	106件																															
実施効果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度に比べ約30件増えた。(※平成26年度：53件) ・平均すると、1か月あたり7件だった。(※平成26年度：4件) ・男性からの電話件数が増えた。(平成26年度：男性 6件) ・内容等に応じて、市の窓口(健康増進課)へつないだ。 ・無言電話が多かった。(4月・5月) ・平成27年度をもって、この事業は終了となった。 																															

○地域に対する活動等

■印刷作業

【実施内容】

- ・地区社協、関係機関(広島県精神障害者支援事業所連絡会)等からの依頼を受け、印刷作業を行った。

【評価と課題】

- ・関係団体等から依頼を受け、印刷作業を行った。
- ・今後も依頼があれば、地域貢献の一つとして行っていく。

4. 苦情解決等

○意見箱および利用者からの意見等について

・平成27年度に、しらとり会ミーティングで報告した意見箱の内容及び、しらとり会ミーティングで話し合った議題の対応策は、表1のとおりである。

表1 平成27年度の意見箱等の内容としらとり会ミーティングで話し合った対応策

月	件数	利用者からの意見	しらとり会ミーティングで話し合った対応策
4	0	※利用者からの意見及び要望等はなし	
5	0	※利用者からの意見及び要望等はなし	
6	2	「お昼の送迎をお願いします」	→職員の勤務体制や業務の都合上、今の状況では難しいため、当面は、週3回。平成27年度の実績をふまえて検討。
		「送迎について、希望者に毎日利用できるようにしてほしい。難しければ帰りだけでも毎日してもらいたい」	
7	1	「かき氷をしてほしい」	→例年通り行う。
8	1	「2階にガリガリ君を買って安く売ったらいい」	→スーパーの方が安いので、各自スーパーで買ってほしい。
9	1	「室内20℃設定にしてほしい。今、交流室が26℃。スイッチ入れてほしいONにしてほしい」	→外との気温差があると体がしんどくなるおそれがある。環境省が言っているのは28度だが、皆さんの状況をみながら調整していく。
10	0	※利用者からの意見及び要望等はなし	
11	0	※利用者からの意見及び要望等はなし	
12	2	「習字の事業をしてほしい字が上手になりたいから」	→個人企画で行ってもらおう。
		「新聞を朝日だけじゃなくて中国もおいてほしい地元の情報経済のことがわかるので…映画のことも載っているの…検討してみてください」	→話し合いの結果、朝日新聞を継続することとなった。
1	2	「トイレの数を増やしてほしい。間に合わないから」	→建物の構造上、難しい。
		「送迎を月曜～金曜（片道200円）にしてほしい。しんどいから」	→1年間の実績を踏まえて検討していく。
2	7	「寒いので1階のドアを完全に閉まるようにしてほしい」	→業者の人に見てもらい修理する。
		「1階のトイレを男女兼用にしてほしい」	→すでに男女兼用となっている。
		「節約しましょう」	→みんなで節約していく。
		「送迎を毎日してほしい」	→今年度の実績を踏まえて検討。
		「カラオケ大会をしてはどうか」	→レクリエーションか個人企画で行ってほしい。
		「女性メンバーが少ないので、職員も順番にやってほしい。一人一人がきれいに利用できるように」	→閉館後に職員も交代で掃除をしている。皆で気を付けていこう。
		「2階のトイレがやかましい」	→トイレの擬音装置のため、了解してほしい。

月	件数	利用者からの意見	しらとり会ミーティングで話し合った対応策
3	3	「人の事をののしる人がいます。我慢の限界なので、もう口撃します」	→してはいけないことなので、そのようなときは職員に声をかけてください。
		「送迎を毎日してほしい」	→今年度の実績をふまえて検討するが、
		「送迎車について交通の困難じゃない人も、どうしてもそのときは利用できるようにしてほしいです」	現状としては難しい。
意見箱件数		計 19 件	

5. 防災・安全

①防災訓練等の実施

【目的】

- ・火災等の非常時に際して、安全かつ速やかに屋外に避難ができるよう、実地に訓練を行い、意識を高める。(車イス利用者への対応の仕方を学ぶ)

【実施内容】

- ・平成27年度は、防災訓練(避難訓練・通報訓練・消火訓練)を3月に実施した。
 - ・防災訓練(実施日:平成28年3月25日、参加者28人)(*職員を含む)
- ・消防署員の立会いのもと避難訓練・通報訓練及び、消火訓練を行った。今回は車イス利用者からの希望もあり、車イスごとの避難方法についても実際に訓練を行った。

【評価と課題】

- ・利用者の協力により、避難訓練は冷静・迅速に対応できており、車イス利用者の訓練についても、安全面に配慮しながら避難できていた。消防署からも評価していただいた。
- ・地震や火災等の非常時に備えて、常日頃より安全かつ迅速に対応できるよう、今後も継続して訓練等を実施していく。

②インフルエンザの予防接種の実施等

【実施内容】

- ・各フロアへ、インフルエンザについてのポスターを掲示し、予防に向けて利用者に周知した。
- ・インフルエンザの予防接種については、協力医療機関(かなたクリニック)である金田医師の都合により、平成27年度については事業所内での往診による実施を見送り、それぞれかかりつけの医療機関で受けてもらうようお願いした。
 - ・1階玄関及び2階東側階段入り口には、消毒用のジェル等を設置し、来館者へ消毒を促した。
 - ・また、各フロア、台所及びトイレ等に消毒用のスプレーを設置し、積極的な利用を促した。

【評価と課題】

- ・今後も引き続き、インフルエンザだけでなく、感染症、食中毒等の発生の予防に努めていく。

平成 27 年度
社会福祉法人しらとり会 収支決算報告

1. 資金収支計算書	・・・ 4 4
2. 事業活動計算書	・・・ 4 6
3. 貸借対照表	・・・ 4 8
4. 財務諸表に対する注記（法人全体用）	・・・ 5 0
5. 基本財産及びその他固定資産（有形・無形固定資産）明細書	・・・ 5 3
6. しらとり会拠点区分 事業活動明細書	・・・ 5 4
7. 財産目録	・・・ 5 6
8. 残高証明書	・・・ 5 7

資金収支計算書

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

社会福祉法人しらとり会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
収入	就労支援事業収入	2,615,000	2,726,739	△111,739		
	受注事業収入	1,620,000	1,863,560	△243,560		
	サービス事業収入	995,000	863,179	131,821		
	障害福祉サービス等事業収入	39,270,000	40,264,560	△994,560		
	自立支援給付費収入	39,240,000	40,220,369	△980,369		
	訓練等給付費収入	33,050,000	34,044,369	△994,369		
	地域相談支援給付費収入	490,000	484,840	5,160		
	計画相談支援給付費収入	5,700,000	5,691,160	8,840		
	利用者負担金収入	30,000	44,191	△14,191		
	受託事業収入	20,397,900	20,302,900	95,000		
	市受託金収入	20,397,900	20,302,900	95,000		
	借入金利息補助金収入	27,000	27,000	0		
	借入金利息補助金収入	27,000	27,000	0		
	経常経費寄附金収入	850,000	832,000	18,000		
	経常経費寄附金収入	850,000	832,000	18,000		
	受取利息配当金収入	707	947	△240		
	受取利息配当金収入	707	947	△240		
	その他の収入	472,700	532,077	△59,377		
	雑収入	472,700	532,077	△59,377		
	事業活動収入計(1)		63,633,307	64,686,223	△1,052,916	
事業活動による収支	支出	人件費支出	48,619,045	48,514,654	104,391	
		職員給料支出	30,400,000	30,300,171	99,829	
		職員賞与支出	10,040,045	10,040,045	0	
		非常勤職員給与支出	1,516,300	1,515,112	1,188	
		退職給付支出	491,700	491,700	0	
		退職給付支出	491,700	491,700	0	
		法定福利費支出	6,171,000	6,167,626	3,374	
		事業費支出	1,282,800	1,319,856	△37,056	
		教養娯楽費支出	55,600	54,719	881	
		水道光熱費支出	563,000	548,372	14,628	
		燃料費支出	17,200	15,480	1,720	
		消耗器具備品費支出	91,000	91,000	0	
		車両費支出	556,000	610,285	△54,285	
		事務費支出	6,206,675	6,181,147	25,528	
		福利厚生費支出	83,007	81,296	1,711	
		旅費交通費支出	5,380	6,500	△1,120	
		研修研究費支出	139,570	139,570	0	
		事務消耗品費支出	314,300	308,717	5,583	
		印刷製本費支出	0	27,000	△27,000	
		水道光熱費支出	551,000	548,331	2,669	
		燃料費支出	282,000	279,034	2,966	
		修繕費支出	736,500	735,558	942	
		通信運搬費支出	588,388	572,097	16,291	
		会議費支出	2,000	1,944	56	
		業務委託費支出	1,038,314	916,212	122,102	
		保険料支出	368,030	368,030	0	
		賃借料支出	638,000	634,640	3,360	
土地・建物賃借料支出	262,400	262,400	0			
租税公課支出	26,850	26,850	0			
保守料支出	802,024	889,710	△87,686			
渉外費支出	0	10,000	△10,000			
謝金支出	47,000	47,773	△773			
諸会費支出	301,201	301,201	0			

資金収支計算書

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

社会福祉法人しらとり会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収支	支出	雑支出	20,711	24,284	△3,573	
		就労支援事業支出	4,218,000	4,247,165	△29,165	
		就労支援事業販売原価支出	4,218,000	4,247,165	△29,165	
		就労支援事業製造原価支出	4,218,000	4,247,165	△29,165	
		支払利息支出	96,960	96,960	0	
		支払利息支出	96,960	96,960	0	
		事業活動支出計(2)	60,423,480	60,359,782	63,698	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		3,209,827	4,326,441	△1,116,614		
施設整備等による収支	収入	施設整備等寄附金収入	500,000	500,000	0	
		設備資金借入金元金償還寄附金収入	500,000	500,000	0	
		施設整備等収入計(4)	500,000	500,000	0	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	1,010,000	1,010,000	0	
		設備資金借入金元金償還支出	1,010,000	1,010,000	0	
施設整備等支出計(5)		1,010,000	1,010,000	0		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△510,000	△510,000	0		
活動による収支	収入	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出	その他の活動支出計(8)	0	0	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		0	0	0		
予備費支出(10)		0	—	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		2,699,827	3,816,441	△1,116,614		
前期末支払資金残高(12)		0	51,226,578	△51,226,578		
当期末支払資金残高(11)+(12)		2,699,827	55,043,019	△52,343,192		

事業活動計算書

(自)平成27年4月1日(至)平成28年3月31日

社会福祉法人しらとり会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)
収益	就労支援事業収益	2,726,739	2,545,486	181,253
	受注事業収益	1,863,560	1,832,988	30,572
	サービス事業収入	863,179	712,498	150,681
	障害福祉サービス等事業収益	40,264,560	41,411,780	△1,147,220
	自立支援給付費収益	40,220,369	41,393,106	△1,172,737
	訓練等給付費収益	34,044,369	35,729,676	△1,685,307
	地域相談支援給付費収益	484,840	487,120	△2,280
	計画相談支援給付費収益	5,691,160	5,176,310	514,850
	利用者負担金収益	44,191	18,674	25,517
	受託事業収益	20,302,900	19,462,396	840,504
	受託事業収益	20,302,900	19,462,396	840,504
	経常経費寄附金収益	832,000	957,163	△125,163
	経常経費寄附金収入	832,000	957,163	△125,163
	サービス活動収益計(1)	64,126,199	64,376,825	△250,626
サービス活動増減の部 費用	人件費	52,070,863	47,641,818	4,429,045
	職員給料	30,300,171	28,400,121	1,900,050
	職員賞与	10,040,045	10,017,769	22,276
	賞与引当金繰入	3,556,209	0	3,556,209
	非常勤職員給与	1,515,112	2,907,345	△1,392,233
	退職給付費用	491,700	491,700	0
	退職給付費用	491,700	491,700	0
	法定福利費	6,167,626	5,824,883	342,743
	事業費	1,319,856	1,550,886	△231,030
	教養娯楽費	54,719	56,056	△1,337
	水道光熱費	548,372	615,820	△67,448
	燃料費	15,480	13,298	2,182
	消耗器具備品費	91,000	0	91,000
	保険料	0	81,000	△81,000
	車輛費	610,285	784,712	△174,427
	事務費	6,181,147	5,962,975	218,172
	福利厚生費	81,296	73,834	7,462
	旅費交通費	6,500	200	6,300
	研修研究費	139,570	117,570	22,000
	事務消耗品費	308,717	453,720	△145,003
	印刷製本費	27,000	0	27,000
	水道光熱費	548,331	609,417	△61,086
	燃料費	279,034	252,661	26,373
	修繕費	735,558	147,312	588,246
	通信運搬費	572,097	615,833	△43,736
	会議費	1,944	2,576	△632
	広報費	0	86,400	△86,400
	業務委託費	916,212	1,005,709	△89,497
	手数料	0	78,637	△78,637
	保険料	368,030	422,089	△54,059
	賃借料	634,640	623,474	11,166
	土地・建物賃借料	262,400	116,400	146,000
	租税公課	26,850	45,610	△18,760
保守料	889,710	925,944	△36,234	
渉外費	10,000	10,000	0	
謝金費	47,773	68,886	△21,113	
講師旅費	0	14,684	△14,684	
諸会費	301,201	287,008	14,193	
雑費	24,284	5,011	19,273	

事業活動計算書

(自)平成27年4月1日(至)平成28年3月31日

社会福祉法人しらとり会

(単位:円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)	
サービス活動増減の部	費用	就労支援事業費用	4,247,165	3,940,095	307,070
		就労支援事業販売原価	4,247,165	3,940,095	307,070
		当期就労支援事業製造原価	4,247,165	3,940,095	307,070
		減価償却費	2,955,142	2,779,254	175,888
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△2,604,620	△2,464,340	△140,280
		サービス活動費用計(2)	64,169,553	59,410,688	4,758,865
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△43,354	4,966,137	△5,009,491	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	27,000	31,000	△4,000
		借入金利息補助金収入	27,000	31,000	△4,000
		受取利息配当金収益	947	1,955	△1,008
		受取利息配当金収入	947	1,955	△1,008
		その他のサービス活動外収益	532,077	641,413	△109,336
		雑収益	532,077	641,413	△109,336
	サービス活動外収益計(4)		560,024	674,368	△114,344
	費用	支払利息	96,960	113,120	△16,160
		支払利息支出	96,960	113,120	△16,160
		サービス活動外費用計(5)	96,960	113,120	△16,160
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		463,064	561,248	△98,184	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		419,710	5,527,385	△5,107,675	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	1,260,000	△1,260,000
		施設整備等補助金収益	0	1,260,000	△1,260,000
		施設整備等寄附金収益	500,000	500,000	0
		設備資金借入金元金償還寄附金収益	500,000	500,000	0
	特別収益計(8)		500,000	1,760,000	△1,260,000
	費用	基本金組入額	500,000	500,000	0
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	1,260,000	△1,260,000
特別費用計(9)		500,000	1,760,000	△1,260,000	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		0	0	0	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		419,710	5,527,385	△5,107,675	
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額(12)	54,426,034	48,643,295	5,782,739	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	54,845,744	54,170,680	675,064	
	その他の積立金取崩額(15)	0	255,354	△255,354	
	工賃変動積立金取崩額	0	255,354	△255,354	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	54,845,744	54,426,034	419,710	

貸借対照表

平成28年3月31日 現在
社会福祉法人しらとり会

(単位：円)

	資産の部		
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	57,288,408	58,037,724	△749,316
現金預金	50,165,693	46,489,073	3,676,620
現金	0	4,634	△4,634
預金	50,165,693	46,484,439	3,681,254
事業未収金	6,812,033	7,112,922	△300,889
未収補助金	27,000	31,000	△4,000
未収収益	279,170	4,352,026	△4,072,856
一般	279,170	4,352,026	△4,072,856
立替金	0	0	0
前払費用	4,512	52,703	△48,191
仮払金	0	0	0
固定資産	106,434,778	109,389,920	△2,955,142
基本財産	104,770,980	107,273,159	△2,502,179
建物	103,770,980	106,273,159	△2,502,179
定期預金	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	1,663,798	2,116,761	△452,963
車輛運搬具	1,228,191	1,492,051	△263,860
器具及び備品	225,627	347,530	△121,903
権利	13,980	13,980	0
ソフトウェア	196,000	263,200	△67,200
資産の部合計	163,723,186	167,427,644	△3,704,458

貸借対照表

平成28年3月31日 現在
社会福祉法人しらとり会

(単位：円)

負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動負債	6,811,598	7,821,146	△1,009,548
1年以内返済予定設備資金借入金	1,010,000	1,010,000	0
未払費用	2,064,825	6,635,892	△4,571,067
一般	2,064,825	6,635,892	△4,571,067
預り金	1,554	1,554	0
職員預り金	179,010	173,700	5,310
仮受金	0	0	0
賞与引当金	3,556,209	0	3,556,209
固定負債	4,040,000	5,050,000	△1,010,000
設備資金借入金	4,040,000	5,050,000	△1,010,000
負債の部合計	10,851,598	12,871,146	△2,019,548
純資産の部			
基本金	11,054,720	10,554,720	500,000
国庫補助金等特別積立金	86,971,124	89,575,744	△2,604,620
次期繰越活動増減差額	54,845,744	54,426,034	419,710
次期繰越活動増減差額	54,845,744	54,426,034	419,710
(うち当期活動増減差額)	419,710	5,527,385	△5,107,675
純資産の部合計	152,871,588	154,556,498	△1,684,910
負債及び純資産の部合計	163,723,186	167,427,644	△3,704,458

財務諸表に対する注記（法人全体用）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

・該当事項はありません。

(2) 固定資産の減価償却の方法

・建物並びに器具及び備品一定額法

・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

該当事項はありません。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

該当事項はありません。

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金・・・該当事項はありません。

・賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しております。

3. 重要な会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 法人で採用する退職給付制度

当法人は、独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度を採用しております。

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の財務諸表（第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式）

(2) 拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙4）

(3) 拠点区分におけるサービス区分の内容

しらとり会

「本部」（社会福祉事業）

「就労継続支援B型事業」（社会福祉事業）

「生活訓練事業」（社会福祉事業）

「地域活動支援センターI型事業」（社会福祉事業）

「指定相談支援事業」（社会福祉事業）

「委託相談支援事業」（社会福祉事業）

「住宅入居等支援事業」（社会福祉事業）

「自殺対策電話相談事業」（社会福祉事業）

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	0	0	0	0
建物	106,273,159	0	2,502,179	103,770,980
定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000
合計	107,273,159	0	2,502,179	104,770,980

7. 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当事項はありません。

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	0円
建物（基本財産）	103,770,980円

計	103,770,980円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	5,050,000円

計	5,050,000円

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産 建物	139,010,000	35,239,020	103,770,980
有形固定資産 車両運搬具	5,905,070	4,676,879	1,228,191
有形固定資産 器具・備品	6,080,060	5,854,433	225,627
無形固定資産 ソフトウェア	609,000	413,000	196,000
合計	151,604,130	46,183,332	105,420,798

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）

該当事項はありません。

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項はありません。

12. 関連当事者との取引の内容

取引条件及び取引条件の決定方針等

該当事項はありません。

13. 重要な偶発債務

該当事項はありません。

14. 重要な後発事象

該当事項はありません。

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当事項はありません。

基本財産及びその他の固定資産(有形・無形固定資産)の明細書

(自) 平成27年04月01日 (至) 平成28年03月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人しらとり会
拠点区分 しらとり会

資産の種類及び名称	期首帳簿価額(A)		当期増加額(B)		当期減価償却額(C)		当期減少額(D)		期末帳簿価額(E=A+B-C-D)		減価償却累計額(F)		期末取得原価(G=E+F)		摘要
	うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		
基本財産(有形固定資産)															
土地															
建物	106,273,159	88,385,884			2,502,179	2,394,200			103,770,980	85,991,684	35,239,020	33,718,316	139,010,000	119,710,000	
器具・備品															
基本財産合計	106,273,159	88,385,884			2,502,179	2,394,200			103,770,980	85,991,684	35,239,020	33,718,316	139,010,000	119,710,000	
その他の固定資産(有形固定資産)															
土地															
建物															
車両運搬具	1,492,051	1,189,860			263,860	210,420			1,228,191	979,440	4,676,879	280,560	5,905,070	1,260,000	
器具・備品	347,530				121,903				225,627		5,854,433	2,658,687	6,080,060	2,658,687	
その他の固定資産(有形固定資産)計	1,839,581	1,189,860			385,763	210,420			1,453,818	979,440	10,531,312	2,939,247	11,985,130	3,918,687	
その他の固定資産(無形固定資産)															
ソフトウェア	263,200				67,200				196,000		413,000	273,000	609,000	273,000	
ソフトウェア															
その他の固定資産(無形固定資産)計	263,200				67,200				196,000		413,000	273,000	609,000	273,000	
基本財産及びその他の固定資産計	2,102,781	1,189,860			452,963	210,420			1,649,818	979,440	10,944,312	3,212,247	12,594,130	4,191,687	
基本財産及びその他の固定資産計	108,375,940	89,575,744			2,955,142	2,604,620			105,420,798	86,971,124	46,183,332	36,930,563	151,604,130	123,901,687	
将来入金予定の償還補助金の額															
差引	89,575,744				2,604,620				86,971,124						

- (注) 1. 「うち国庫補助金等の額」については、設備資金元金償還補助金がある場合には、償還補助総額を記載した上で、国庫補助金取崩計算を行うものとする。
 ただし、「将来入金予定の償還補助金の額」欄では、「期首帳簿価額」の「うち国庫補助金等の額」はマイナス表示し、実際に補助金を受けた場合に「当期増加額」の「うち国庫補助金等の額」をプラス表示することにより、「差引」欄の「期末帳簿価額」の「うち国庫補助金等の額」が貸借対照表上の国庫補助金等特別積立金残高と一致することが確認できる。
2. 「当期増加額」には減価償却控除前の増加額、「当期減少額」には当期減価償却額を控除した減少額を記載する。

社会福祉法人しらとり会

勘 定 科 目		サービ						
		本部	就労継続支援B型事業	生活訓練事業	地域活動支援センターI型事業			
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	0	2,726,739	0	0		
		受注事業収益	0	1,863,560	0	0		
		サービス事業収入	0	863,179	0	0		
		障害福祉サービス等事業収益	0	29,007,790	5,080,770	0		
		自立支援給付費収益	0	28,978,296	5,066,073	0		
		訓練等給付費収益	0	28,978,296	5,066,073	0		
		地域相談支援給付費収益	0	0	0	0		
		計画相談支援給付費収益	0	0	0	0		
		利用者負担金収益	0	29,494	14,697	0		
		受託事業収益	0	0	0	15,480,000		
		受託事業収益	0	0	0	15,480,000		
		経常経費寄附金収益	832,000	0	0	0		
		経常経費寄附金収入	832,000	0	0	0		
		サービス活動収益計(1)	832,000	31,734,529	5,080,770	15,480,000		
		サービス活動増減の部	費用	人件費	0	19,165,423	4,322,840	23,051,095
				職員給料	0	10,712,184	2,382,762	13,895,624
職員賞与	0			3,623,670	853,458	4,463,798		
賞与引当金繰入	0			1,256,256	296,855	1,620,796		
非常勤職員給与	0			1,210,189	268,623	0		
退職給付費用	0			174,330	49,170	214,560		
退職給付費用	0			174,330	49,170	214,560		
法定福利費	0			2,188,794	471,972	2,856,317		
事業費	91,000			820,033	144,455	204,368		
教養娯楽費	0			27,972	5,604	21,143		
水道光熱費	0			383,852	54,842	109,678		
燃料費	0			7,740	1,548	6,192		
消耗器具備品費	91,000			0	0	0		
車両費	0			400,469	82,461	67,355		
事務費	285,907			3,548,844	588,745	1,557,746		
福利厚生費	0			25,289	7,913	39,402		
旅費交通費	1,960			0	0	3,078		
研修研究費	0			3,270	23,280	102,560		
事務消耗品費	21,492			118,632	19,787	124,506		
印刷製本費	27,000			0	0	0		
水道光熱費	0			383,840	54,832	109,659		
燃料費	0			110,817	84,005	24,212		
修繕費	0			502,356	72,506	160,696		
通信運搬費	2,700			211,927	43,473	237,792		
会議費	1,944			0	0	0		
業務委託費	1,188			620,177	96,192	197,893		
保険料	0			269,130	0	98,900		
賃借料	0			443,582	63,745	127,313		
土地・建物賃借料	146,000			58,200	11,640	46,560		
租税公課	1,850			25,000	0	0		
保守料	0			614,936	79,359	177,391		
渉外費	10,000			0	0	0		
謝金費	47,773			0	0	0		
諸会費	24,000			161,688	32,013	83,500		
雑費	0			0	0	24,284		
就労支援事業費用	0			4,247,165	0	0		
就労支援事業販売原価	0			4,247,165	0	0		
当期就労支援事業製造原価	0			4,247,165	0	0		
減価償却費	0			2,055,517	0	899,625		
国庫補助金等特別積立金取崩額	0			△1,751,768	0	△852,852		
サービス活動費用計(2)	376,907			28,085,214	5,056,040	24,859,982		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	455,093			3,649,315	24,730	△9,379,982		
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	17,010	0	9,990		
		借入金利息補助金収入	0	17,010	0	9,990		
		受取利息配当金収益	0	29	138	521		
		受取利息配当金収入	0	29	138	521		
		その他のサービス活動外収益	358,010	0	0	174,067		
		雑収益	358,010	0	0	174,067		
		サービス活動外収益計(4)	358,010	17,039	138	184,578		
サービス活動外増減の部	費用	支払利息	0	61,084	0	35,876		
		支払利息支出	0	61,084	0	35,876		
		サービス活動外費用計(5)	0	61,084	0	35,876		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	358,010	△44,045	138	148,702				
経常増減差額(7)=(3)+(6)	813,103	3,605,270	24,868	△9,231,280				

しらとり会拠点区分 事業活動明細書

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

(単位:円)

ス区分				合計	内部取引 消去	拠点区分合計
指定相談支援事業	委託相談支援事業	住宅入居等支援事業	自殺対策電話相談事業			
0	0	0	0	2,726,739	0	2,726,739
0	0	0	0	1,863,560	0	1,863,560
0	0	0	0	863,179	0	863,179
6,176,000	0	0	0	40,264,560	0	40,264,560
6,176,000	0	0	0	40,220,369	0	40,220,369
0	0	0	0	34,044,369	0	34,044,369
484,840	0	0	0	484,840	0	484,840
5,691,160	0	0	0	5,691,160	0	5,691,160
0	0	0	0	44,191	0	44,191
0	4,282,900	0	540,000	20,302,900	0	20,302,900
0	4,282,900	0	540,000	20,302,900	0	20,302,900
0	0	0	0	832,000	0	832,000
0	0	0	0	832,000	0	832,000
6,176,000	4,282,900	0	540,000	64,126,199	0	64,126,199
920,528	4,610,977	0	0	52,070,863	0	52,070,863
530,402	2,779,199	0	0	30,300,171	0	30,300,171
176,253	922,866	0	0	10,040,045	0	10,040,045
61,305	320,997	0	0	3,556,209	0	3,556,209
36,300	0	0	0	1,515,112	0	1,515,112
8,940	44,700	0	0	491,700	0	491,700
8,940	44,700	0	0	491,700	0	491,700
107,328	543,215	0	0	6,167,626	0	6,167,626
60,000	0	0	0	1,319,856	0	1,319,856
0	0	0	0	54,719	0	54,719
0	0	0	0	548,372	0	548,372
0	0	0	0	15,480	0	15,480
0	0	0	0	91,000	0	91,000
60,000	0	0	0	610,285	0	610,285
131,629	16,092	0	52,184	6,181,147	0	6,181,147
1,654	7,038	0	0	81,296	0	81,296
1,462	0	0	0	6,500	0	6,500
1,520	8,940	0	0	139,570	0	139,570
24,300	0	0	0	308,717	0	308,717
0	0	0	0	27,000	0	27,000
0	0	0	0	548,331	0	548,331
60,000	0	0	0	279,034	0	279,034
0	0	0	0	735,558	0	735,558
24,021	0	0	52,184	572,097	0	572,097
0	0	0	0	1,944	0	1,944
648	114	0	0	916,212	0	916,212
0	0	0	0	368,030	0	368,030
0	0	0	0	634,640	0	634,640
0	0	0	0	262,400	0	262,400
0	0	0	0	26,850	0	26,850
18,024	0	0	0	889,710	0	889,710
0	0	0	0	10,000	0	10,000
0	0	0	0	47,773	0	47,773
0	0	0	0	301,201	0	301,201
0	0	0	0	24,284	0	24,284
0	0	0	0	4,247,165	0	4,247,165
0	0	0	0	4,247,165	0	4,247,165
0	0	0	0	4,247,165	0	4,247,165
0	0	0	0	2,955,142	0	2,955,142
0	0	0	0	△2,604,620	0	△2,604,620
1,112,157	4,627,069	0	52,184	64,169,553	0	64,169,553
5,063,843	△344,169	0	487,816	△43,354	0	△43,354
0	0	0	0	27,000	0	27,000
0	0	0	0	27,000	0	27,000
235	0	0	24	947	0	947
235	0	0	24	947	0	947
0	0	0	0	532,077	0	532,077
0	0	0	0	532,077	0	532,077
235	0	0	24	560,024	0	560,024
0	0	0	0	96,960	0	96,960
0	0	0	0	96,960	0	96,960
0	0	0	0	96,960	0	96,960
235	0	0	24	463,064	0	463,064
5,064,078	△344,169	0	487,840	419,710	0	419,710

財産目録

別紙5

平成28年3月31日 現在

(法人名)社会福祉法人しらとり会

資産・負債の内訳	金額
流動資産	57,288,408
現金預金	50,165,693
現金	
預金	50,165,693
事業未収金	6,812,033
未収補助金	27,000
未収収益	279,170
一般	279,170
立替金	
前払費用	4,512
仮払金	
固定資産	106,434,778
基本財産	104,770,980
建物	103,770,980
定期預金	1,000,000
その他の固定資産	1,663,798
車輛運搬具	1,228,191
器具及び備品	225,627
権利	13,980
ソフトウェア	196,000
資産の部合計	163,723,186
流動負債	6,811,598
1年以内返済予定設備資金借入金	1,010,000
未払費用	2,064,825
一般	2,064,825
預り金	1,554
職員預り金	179,010
仮受金	
賞与引当金	3,556,209
固定負債	4,040,000
設備資金借入金	4,040,000
負債の部合計	10,851,598
差引純資産	152,871,588

739-2105
 広島県 東広島市 高屋町松山 267-1

平成 28年 04月 14日

社会福祉法人しらとり会 様



株式会社 **もみじ銀行**

〒730-8678 広島市中区胡町1番24号

*00100009 01496 160414 RYBI150D1Z-L1-0 B
 0493 0000013 00014 000014 001/001 000014 000017

残高証明書 ACCOUNT BALANCE CERTIFICATE

(全口座 (口座別))

平成 28年 03月 31日現在の貴方ご名義下記勘定残高について
 相違ないことを証明いたします。

THIS IS TO CERTIFY THAT THE BALANCE OF YOUR ACCOUNT(S)
 WITH Momiji Bank, Ltd. SHOW(S) THE AMOUNT(S) INDICATED
 BELOW.

株式会社 **もみじ銀行**

Momiji Bank, Ltd.

お取引店 高屋 支店

電話 082(434)3001



勘定 ACCOUNT	口座番号 ACCOUNT NO.	残高 BALANCE	(内決済未確認証券類) (BILLS OR CHECKS FOR COLLECTION)	備考 REMARKS
普通預金	0364791	¥0		¥0
普通預金	0364805	¥9826691		¥0
普通預金	0365429	¥86687		¥0
普通預金	0367952	¥15354934		¥0
普通預金	0397738	¥95000		¥0
普通預金	0404831	¥22505322		¥0
普通預金	0404858	¥7211		¥0
普通預金	0416910	¥255969		¥0
普通預金	0426479	¥5		¥0
普通預金	0431006	¥657612		¥0
普通預金	0454936	¥388560		¥0
普通預金	0472853	¥987702		¥0
以下余白				

- 「指定口座」の表示がある場合は、貴方様よりご依頼のありました特定の口座のみについて証明しています。
- この証明書の金額は訂正いたしません。
- 金額は、証明日現在の元帳最終残高を表わし決済未確認の証券類を含んでいることがあります。この場合はその金額を「(内決済未確認証券類)」に表示します。
- 「当座貸越(総合口座)」には、約定返済のないカードローンのご利用額も含まれます。
- 口座番号欄は、口座指定のご依頼の場合のみ表示します。

#000014-000014 (RYBI150D)1Z

〒739-2105

残高証明書

広島県 東広島市 高屋町検山 267-1

2016年 4月 14日

社会福祉法人 しらとり会
理事 正田 信夫 様

株式会社 広島銀行

(4076459)

高屋支店



貴名義の 2016年 3月 31日現在の下記預金
について、次のとおり証明いたします。



1A°-3"

取引の種類	金額	摘要
普通預金 口座番号 3084997	¥0	
合計金額	¥0	
	以下余白	

この証明書の金額は訂正いたしません。
取引の種類が「商業手形」の場合、でんさい割引の残高を含みます。

以上

(07600A311308310410N2)

14.9 2X50 500(S) (003-008)a